

目 次

グラビア セピア色の写真館

巻 頭 言	1
新役員紹介	2～3
お知らせ	4～6
理事会のうごき	7～8
母校だより	9～10
支部のうごき	11～21
ふるさと自慢	22
クラス会だより	23～31
OB会・グループ・サークルだより	32～34
すいどうばし	35
庶務日誌	36
逝去会員	37
追 悼	38
へんしゅうこうき	39

---

表紙 河原俊朗

オーヴェルの教会（フランス）

パリ近郊，オーズ川のほとりの麦畑に囲まれたのどかな村，オーヴェル。そこは，ゴッホの終焉の地で，そこにあるこの教会も彼が描いたことで有名である。

私は，2003年の初夏，パリに長期で滞在していました。その頃，フランスでは国鉄の大規模なストライキがあり，大変な思いをしてこの地を訪ねたことを覚えています。

しかし，そこで出会ったゴッホの描いた素晴らしい風景，美味しいワインと料理は，みんな最高だったなあ……。

---

今月号374号より，表紙デザインを河原俊朗先生（平成7年卒）にお願いをしました。河原先生は，本学大学院修了後，パリに滞在し，趣味の絵を勉強されたそうです。

平成10年2月号（302号）から平成21年12月号（373号）まで担当していただいた野村 淳先生（昭和41年卒），長い間，ありがとうございました。

## セピア色の写真館 ～思い出の一枚～



上：昭和25年，バレーボール部創部当初ベストナインの勇姿 前列左から畦森（1期）・梅原（4）・矢野（1）・杉山（4），後列左から塚本（2）・熊谷（4）・加藤（4）・尾上（1）・伊藤（4）  
下：昭和35年，第3回オールデンタル優勝時のメンバーと先輩 細山・滝沢・鈴木（9期），梅津・片桐（10），池田・竹内（11），田口・吉澤・四宮（12）ほか



昭和49年、本学主管の第7回歯学体で男女共に優勝、市川屋内体育館の柿落としを飾った。

### バレーボール部の歩み

部の誕生は昭和22年（1947）です。以来60有余年、300名を超える部員を輩出して脈々と活動を継承しています。その礎を築いたのは新制大学1、2期生です。戦後の荒れた市川グラウンドの一隅をコートに整備し、日暮れまで練習し、そして試合に臨みました。当時は9人制、主体は屋外スポーツでした。昭和25年、関東学生リーグ2部に昇格した創部当初のベストナインは将に勇壮です。第1回全日本歯科学学生体育大会（オールデンタル）の開催は昭和33年です。2位に甘んじる雪辱を期し、細山主将は夏季合宿を画期的に新潟県越後湯沢としてチームの連携強化を図りました。そして、昭和35年第3回大会では宿敵九州歯科大を破り見事に優勝しました。祝勝に

鈴木（8期）、哇森（1）、二宮（5）、五百住（5）先輩も駆けつけました。思い出多く避暑地でもある越後湯沢合宿は数年行なわれ、先輩も代わる代わる訪れては特訓に加わり好成績を生みました。現行の全日本歯科学学生総合体育大会（歯学体）の第7回大会は本学が主管となり、その機にOB会である友萌会が設立されました。支援の甲斐あって女子部は初出場初優勝、男子部は決勝戦を駒沢から新築された市川グラウンド屋内体育館に移し、また九州歯科大を破り優勝しました。その勢いは昭和51年医歯薬リーグ1部優勝に繋がります。創部50年を経て、新世紀のスタートにあたり部史一歩みと回顧、そして新たな飛躍—を平成15年（2003）に出版しました。その努力が早々に実を結び、平成19年第39回



越後湯沢夏季合宿での先輩による特訓



昭和51年、医歯薬リーグ1部優勝記念ボール

歯学体で坂部長（解剖学講座講師）のもと男子部が33年ぶりの優勝を果たし、その慶事に前部長・故大串先生の夫人を迎え祝勝会を盛大に開催しました。また平成21年の医歯薬リーグ1部で奇遇にも33年ぶりに優勝し発展しています。今年は本学創立120周年、華を添えるべく歯学体では男子部はもとより、3回優勝実績のある女子部共々総合優勝を期待しています。

（友萌会会長、昭和37年卒・片桐重雄 記）



第39回歯学体で男子部優勝祝賀会（平成19年、東京）

## 今レバレッジのとき

会長再任に際し



会 長

大 山 萬 夫

会員の皆様にはご家族共々お健やかにお越しのこととお慶び申し上げます。平素は本同窓会の運営に深いご理解と多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様にて無事1期2年の任期を終える事が出来ました事、役員一同と共に感謝申し上げます。又昨年11月の同窓会評議員会・総会において、満場一致で再度同窓会会長にご推挙を賜りました。このことは身に余る名誉な事と存じますと共にその責務の重大さに、身の引き締まる思いでございます。お受け致しました以上は、誠心誠意会務執行に努める所存でございます。

この2年間、本部と各支部との連携強化、大学当局との密なる連絡確保等を第一に行動を取ってまいりました。目下極めて良い状況に推移致しております。

さて今年度の本部同窓会活動方針でございますが、同窓会機構改革は必須の課題であり、昨年11月開催の評議員会にてご協議頂きました改革案件につき、本年も引き続き検討を進めてまいります。

本年度の懸案事項として

・支部、地域支部連合会との連携強化・母校との協力強化・シンクタンク機能の推進・主に若手同窓会員のための研修会の開催・本部同窓会執行部及び評議員会改革。

各地の支部をお訪ねした折に、多くの会員より要望のあったものは本部としてもその対応を考えております。

主な問題点として

・会員のみならず社会が新しい変化を望んでいる・若手の同窓会離れが始まっている・経費の面で運営上の問題が懸念される・大学120周年記念、大学移転等への協力体制の強化・組織のスリム化。

等であります。足腰の強い経済的余力の有る同窓会を希望しておられるのです。

時あたかもサブプライムローンの破綻に端を発した金融危機は世界的恐慌にまで発展し、又国内では政権交代・JALの経営破綻等大きく社会は変わろうとしています。この様なとき我が同窓会も将来を見据え痛みをともなう事も有りまじょうが、発展的に勇気を持って変革を遂行しなければならないと確信しております。栄光有る同窓会飛躍のとき、將に今レバレッジのとき来るの感があります。

以上をご理解の上なお一層のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

# 東京歯科大学同窓会新役員紹介

会 長



大山 萬夫 (再任)  
昭和25年卒

副 会 長



片倉 恵男 (再任)  
昭和39年卒  
厚生担当

副 会 長



矢崎 秀昭 (新任)  
昭和42年卒  
保険担当

副 会 長



宮地 建夫 (新任)  
昭和42年卒  
学術担当

副 会 長



関 泰忠 (新任)  
昭和43年卒  
広報・情報担当

副 会 長



梅村 長生 (新任)  
昭和49年卒  
渉外担当

専務理事



高橋 義一 (新任)  
昭和48年卒

常任理事



田原 邦昭 (新任)  
昭和45年卒  
総務担当

常任理事



佐々木真澄 (新任)  
昭和58年卒  
総務担当

常任理事



寺田 仁志 (新任)  
昭和63年卒  
会計担当

常任理事



島村 大 (新任)  
昭和60年卒  
渉外担当

常任理事



河田 英司 (再任)  
昭和51年卒  
学術担当

常任理事



山本 英之 (再任)  
昭和55年卒  
学術担当

常任理事



臼田 準 (新任)  
昭和53年卒  
広報担当

常任理事



木俣 茂 (再任)  
昭和51年卒  
厚生担当

常任理事



中西 国人 (新任)  
昭和53年卒  
保険担当

常任理事



臼井 文規 (再任)  
昭和55年卒  
情報担当

理 事



戸田 徳和 (再任)  
昭和50年卒

理 事



高橋 文明 (新任)  
昭和52年卒

理 事



長久保文夫 (新任)  
昭和43年卒

理 事



早速 晴邦 (新任)  
昭和49年卒

理 事



飯島 和彦 (新任)  
昭和42年卒

理 事



宮田 保 (新任)  
昭和46年卒

理 事



宮本 宣良 (再任)  
昭和48年卒

理 事



井口 廣昭 (新任)  
昭和44年卒

理 事



山根 康雄 (新任)  
昭和44年卒

理 事



久保田 晃 (再任)  
昭和38年卒

理 事



濱田 孝一 (再任)  
昭和50年卒

常任監事



原 武仁 (再任)  
昭和44年卒

監 事



浅野 薫之 (再任)  
昭和40年卒

監 事



柳澤 孝彰 (新任)  
昭和46年卒

—顧問—



鳴神 保雄  
昭和30年卒

—顧問—



森岡 俊介  
昭和47年卒

# お知らせ

## 理事会より

- 二期目を迎えた大山執行部は様々な改革に現在取り組んでいます。  
まずはじめに、それを達成するための基盤となるパソコンによる情報ネットワークについて協議を始めました。将来本部と支部・支部連合会との双方向の情報交換を速やかに行うためのツールとして活用できればと考えています。会員の皆様に於かれましてはご理解とご協力をお願い致します。  
尚次号より改革の内容及び執行部の方針等を順次お知らせしたいと思います。

## 同窓会事業・行事

- 第38回全国ゴルフ大会  
と き 平成22年9月2日(木)  
ところ 神奈川県・相模原カントリークラブ・西コース
- 平成22年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会  
と き 平成22年11月27日(土)  
ところ 如水会館(千代田区一ツ橋2-1-1)
- TDC 卒後研修セミナー2010プログラム  
卒研フォーラム  
No.1 先達に学ぶ『開業医としての楽しみ』  
3月7日(日)  
卒研セミナー  
No.2 『根管処置の経過不良を考える』  
～そのメカニズム～ 4月25日(日)  
No.3 はじめの一步『口腔内から何を讀み、何を考えるか』  
～診断のプロセスを学ぼう～  
5月16日(日)  
No.4 『歯の審美的回復』  
～レジンダイレクトフィリングとホワイトニング～ 6月13日(日)  
No.5 『安全で確実なインプラントをするために』  
～知っておきたい知識と手技～  
7月10日(土)・11日(日)  
No.6 『SPT の実際』 ～エビデンスに基づいたメンテナンスとは?～  
9月12日(日)  
No.7 『咬合育成の基礎と臨床』  
～床矯正装置入門～ 10月17日(日)

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部  
Tel.03-5275-1761

## 地域支部連合・支部関係

- 地域支部連合会会長の交替  
平成21年11月23日付  
近畿地域支部連合会 北村 真也 氏 (S46卒)  
前連合会長 荻原 威雄 氏 (S47卒)  
平成22年1月1日付  
東北地域支部連合会 鈴木 雅夫 氏 (S44卒)  
前連合会長 椎木 一雄 氏 (S44卒)  
関東地域支部連合会 成田 賢二 氏 (S43卒)  
前連合会長 武安 一嘉 氏 (S44卒)  
東京地域支部連合会 矢崎 秀昭 氏 (S42卒)  
前連合会長 服部 玄門 氏 (S33卒)  
信越地域支部連合会 高垣 順吉 氏 (S42卒)  
前連合会長 竹内 忠彦 氏 (S39卒)  
東海地域支部連合会 国島真希子 氏 (S51卒)  
前連合会長 牧野 健司 氏 (S43卒)  
中国地域支部連合会 高木 瑞穂 氏 (S41卒)  
前連合会長 楊井 孝 氏 (S49卒)

## ●支部長交替

平成22年1月1日付

山形県支部	齋藤 利明 氏 (S45卒)	西多摩支部	鏡 一郎 氏 (S51卒)
前支部長	中川 正晴 氏 (S42卒)	前支部長	松永 良治 氏 (S48卒)
栃木県支部	菊地 善郎 氏 (S50卒)	新潟県支部	高垣 順吉 氏 (S42卒)
前支部長	関谷 和夫 氏 (S42卒)	前支部長	清水 潮 氏 (S36卒)
川崎支部	古賀 克隆 氏 (S42卒)	静岡県支部	太田 昭二 氏 (S49卒)
前支部長	飯田 涼二 氏 (S35卒)	前支部長	浅野 尹男 氏 (S45卒)
横須賀鎌倉支部	勝畑 知雄 氏 (S39卒)	愛知県支部	山田 有 氏 (S46卒)
前支部長	谷 繁信 氏 (S47卒)	前支部長	牧野 健司 氏 (S43卒)
神奈川相北支部	高橋 捷治 氏 (S41卒)	三重県支部	柘植 敏生 氏 (S44卒)
前支部長	村山 正之 氏 (S46卒)	前支部長	宮田 保 氏 (S46卒)
山梨県支部	大森 浄二 氏 (S47卒)	京都府支部	永田 賢司 氏 (S48卒)
前支部長	長久保文夫 氏 (S43卒)	前支部長	林 甫 氏 (S47卒)
京橋支部	白井 文規 氏 (S55卒)	和歌山県支部	伊東 正八 氏 (S47卒)
前支部長	森川 志朗 氏 (S46卒)	前支部長	井口 廣昭 氏 (S44卒)
品川支部	木下 優 氏 (S52卒)	山口県支部	藤井 寛昭 氏 (S50卒)
前支部長	小坂 肇 氏 (S44卒)	前支部長	楊井 孝 氏 (S49卒)
北支部	板谷 雅一 氏 (S53卒)	愛媛県支部	横山 洋行 氏 (S53卒)
前支部長	根岸 康雄 氏 (S48卒)	前支部長	日浅 新三 氏 (S48卒)
武蔵野支部	日高 敏郎 氏 (S55卒)	熊本県支部	緒方 進 氏 (S44卒)
前支部長	小山 捷三 氏 (S44卒)	前支部長	添島 義和 氏 (S37卒)
町田支部	赤田 留吉 氏 (S48卒)		
前支部長	濱田 三郎 氏 (S46卒)		

## 母校関係行事・案内

- 平成22年度東京歯科大学入学試験
  - 一般入学試験 (Ⅱ期)
  - 大学入試センター利用試験 (Ⅱ期)
  - 編入学試験
  - 平成22年3月13日 (土)
  - 詳細は371号 (8月号) 9~10頁に記載
- 第115回東京歯科大学卒業証書・学位記授与式
  - と き 平成22年3月25日 (木) 午前10時
  - と ころ 東京歯科大学千葉校舎講堂
- 平成22年度東京歯科大学入学式
  - と き 平成22年4月5日 (月) 午後1時
  - と ころ 東京歯科大学千葉校舎講堂
- 東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業式
  - と き 平成22年3月12日 (金) 午後1時
  - と ころ 東京歯科大学千葉校舎講堂
- 東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学式
  - と き 平成22年4月2日 (金) 午前10時
  - と ころ 東京歯科大学千葉校舎講堂
- 母校120周年記念行事
  - 創立120周年記念学術講演会
    - と き 平成22年5月8日 (土), 9日 (日)
    - と ころ 東京国際フォーラム
  - 創立120周年記念式典・記念講演・記念祝賀会
    - と き 平成22年5月22日 (土)
    - と ころ 帝国ホテル本館 孔雀東西の間



平成22年度 理事会・常任理事会、卒後研修セミナー、広報部委員会  
年 間 開 催 日 程 表

理事会・常任理事会		卒後研修セミナー		広報部委員会	
開催日	区 分	開催日	研修内容	開催日	作業内容
1月16日(土)	第1回 理事会			1月12日(火)	2月号編集
2月17日(水)	第1回 常任理事会			2月10日(水)	4月号企画
3月20日(土)	第2回 理事会	3月7日(日)	卒研フォーラム No.1	3月12日(金)	4月号編集
4月21日(水)	第2回 常任理事会	4月25日(日)	卒研セミナー No.2	4月12日(月)	6月号企画
5月12日(水)	第3回 常任理事会	5月16日(日)	卒研セミナー No.3	5月10日(月)	6月号編集
6月12日(土)	第3回 理事会	6月13日(日)	卒研セミナー No.4	6月11日(金)	8月号企画
7月14日(水)	第4回 常任理事会	7月10日(土)	卒研セミナー No.5	7月12日(月)	8月号編集
		7月11日(日)	卒研セミナー No.5		
				8月20日(金)	10月号企画
9月11日(土)	第4回 理事会	9月12日(日)	卒研セミナー No.6	9月10日(金)	10月号編集
10月16日(土)	第5回 理事会	10月17日(日)	卒研セミナー No.7	10月13日(水)	12月号企画
11月26日(金)	第6回 理事会			11月12日(金)	12月号編集
12月8日(水)	第5回 常任理事会			12月3日(金)	平成23年 2月号企画
				平成23年 1月12日(水)	2月号編集
(理事会6回・常任理事会5回)					
1. 理事会 土曜日 午後2時30分 水道橋校舎特別会議室(5階) (連絡会 午後1時00分) 2. 常任理事会 水曜日 午後5時00分 水道橋校舎特別会議室(5階)		卒後研修セミナー 1. 開催日 3月7日(日)卒研フォーラム 10:00~ 4月25日(日)卒研セミナー 9:00~ 5月16日(日)卒研セミナー 9:30~ 6月13日(日)卒研セミナー 9:30~ 7月10日(土)卒研セミナー 10:00~ 7月11日(日)卒研セミナー 9:30~ 9月12日(日)卒研セミナー 9:30~ 10月17日(日)卒研セミナー 9:00~ 2. 会場 水道橋校舎2階 血脇記念ホール		編集・企画会議 1. 時間 午後7時00分 2. 場所 TDCビル1階 同窓会会議室	

# 理事会のうごき

## 第4回理事会

平成21年11月27日(金)午後3時

於 特別会議室

出席 30名

議長 大山会長

### 会長挨拶

同窓会始まって以来の問題を抱えて始まった本執行部においての2年間のご協力に対し感謝の意を表し、その集大成である協議題を提案している明日の評議員会に向けて、本日しっかり協議を願う旨挨拶。

### 黙 禱

平成21年10月9日から本日までに逝去連絡があった27名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

### 会務報告および承認

1) 平成21年10月13日から12月21日までの日程を報告。

2) 各部報告

(1) 総務部：①支部長交代を1件報告。②支部学術講演会講師派遣交通費支出を3件報告。③全国歯科大学同窓・校友会懇話会について報告。④会員数調べを配付し報告。⑤秋の叙勲受章者、同窓会会長賞受章者を報告、祝意を表した。

平成21年秋の叙勲受章者

旭日小綬章 栗山 豊実 氏(富山県・昭和37年卒)

旭日双光章 杉村 孝 氏

(北海道・昭和31年卒、平成21年10月10日逝去)

旭日双光章 田村 徹二 氏(山口県・昭和36年卒)

旭日双光章 下野 久夫 氏

(鹿児島県・昭和36年卒)

瑞宝中綬章 町田 幸雄 氏(千葉県・昭和30年卒)

東京歯科大学同窓会会長賞受賞者

最優秀賞 國分 克寿 氏

(平成20年9月修了・臨床検査学研究室)

優 秀 賞 久保 浩太郎 氏

(平成18年3月修了・歯科麻酔学講座)

優 秀 賞 塩谷 宗大 氏

(平成20年3月修了・口腔超微構造学講座)

(2) 会計部：①1月～10月の経常部会計、共済基金会計の現況を報告。②規定に基づき事務職員冬季期末

手当を支給する旨報告。

(3) 渉外部：①渉外部委員会報告。②支部別歯科医師会等役員便覧は全評議員に配付することを説明、報告。

(4) 学術部：①学術部委員会報告。②全国歯科大学同窓・校友会懇話会は再来年、東歯が主管校となる予定のため来年までに日時・場所等日程を決める必要がある。次期執行部において早々に決定してほしい旨説明。また、主管校となった場合の問題点を報告。③卒後研修セミナーは11月にフォーラムが盛会に終了し、1年間無事終了したことを報告。

(5) 広報部：①広報部委員会報告。②名簿作成の進捗状況を報告。

(6) 厚生部：①厚生部委員会報告。②厚生部委員会ゴルフ大会委員会より大会は無事終了したが、賞品に業者の手違いによる間違いがあり、その後の対応など問題があったことを報告。③平成21年度逝去会員は11月25日現在で累計124名、規程により弔慰共済金を支給した旨報告。

(7) 保険部：①保険部委員会報告。

(8) 情報部：①情報部委員会報告。

### 各地域選出理事報告

1) 北海道

① 支部長会を開催、意見交換したことを報告。

2) 東 京

① 支部長会開催時の協議内容を報告。

3) 北 陸

① 連合会総会が無事終了したことを報告。

② 支部総会の予定を報告。

4) 近 畿

① 連合会総会が盛会裏に終了したことを報告。

② 次期地域選出理事予定者を報告。

5) 中 国

① 島根県、山口県各支部の総会開催予定を報告。

6) 四 国

① 四国地域支部連合会総会開催日を調整中であることを報告。

② 連合会各地支部長交代の時期等について報告。

7) 九 州

① 連合会総会が終了したことを報告。

## 協議事項

- 1) 会費、共済負担金納入延期願いについて1件承認。
- 2) 平成21年度評議員会、第115回総会、懇親会の運営について時間配分他進行状況を協議し確認、承認。

## 第5回理事会

平成21年12月12日(土)午後3時

於 特別会議室

出席 29名

議長 大山会長

## 会長挨拶

2年間一緒に問題解決のためご尽力頂いたことに感謝の意を表し、以下のとおり挨拶。

謝罪と決意からスタートした2年間。各地に赴き本部と母校との問題について厳しいご質問、ご叱責を受け、その間修復に努め、よい方向に向かったと思う。

この1年は各地より本部と連合会・支部との関係、支部存立の意義等疑問を多数受けた。今後同窓会はどうなるべきか事業等検討特別委員会を立ち上げ足腰の強い・風通しの良い新生同窓会となるよう協議を重ねた。諸般の事情により本年は評議員会に協議題としたが、次期において時代に相応して対応する形にしていきたい。

医政もサポートしてほしいとの要望があり、今後十分活動するスタンスを整えたい。

各委員会においては、それぞれ活動されたその結果を次期執行部に伝えてほしい。

## 黙 禱

平成21年11月26日から本日までに逝去連絡があった3名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

## 会務報告および承認

- 1) 平成21年11月28日から12月22日までの日程を報告。
- 2) 各部報告
  - (1) 総務部：①平成21年12月31日現在で新たに75歳(昭和9年生まれ)に達する会員調べについて報告、承認。②平成21年12月31日現在で新たに80歳(昭和4年生まれ)に達する会員調べについて報告、承認。③平成22年度評議員会・定時総会開催日・場所の予定について報告。④同窓会事務局の年末年始の予定を報告。
  - (2) 会計部：①12月末日会計締め、各部の未払いがあ

れば連絡を依頼。

- (3) 学術部：①学術部委員会報告。②卒後研修セミナー報告。
- (4) 広報部：①広報部委員会報告。②名簿作成委員会報告。
- (5) 厚生部：①厚生部委員会報告。②平成21年度逝去会員は12月8日現在で累計128名、規定により弔慰共済金を支給した旨報告。
- (6) 保険部：①保険部委員会報告。

## 各地域選出理事報告

### 1) 北海道

- ① 支部長より評議員会資料を半月前には送付するよう要望があった旨報告。

### 2) 東 北

- ① 現在本部と支部の関係がうまくいっていることを報告。
- ② 平成22年6月連合会総会開催予定を報告。

### 3) 東 京

- ① 12月5日連合会総会を開催。会長が交代することを報告。

### 4) 東 海

- ① 12月6日岐阜県支部総会開催、次期連合会総会の当番であるが少ない会員数なので全員で協力するよう依頼があった旨報告。

### 5) 北 陸

- ① 12月26日支部長の集まりがあったことを報告。

### 6) 近 畿

- ① 11月23日連合会総会が盛会裏に終了したことを報告。

### 7) 四 国

- ① 11月5日愛媛県支部総会開催、新支部長が決定した。新執行部により今まで同窓会に参加しなかった会員に声掛けを行なう予定であることなど報告。

## 協議事項

- 1) 前同窓会会長から発信された文章への対応について種々協議、同窓会としての姿勢を示すことを承認。
- 2) 本執行部任期2年間の事業総括。
- 3) 次期執行部への申し送り事項について、各部、事業ごとの引継ぎ書提出を依頼。
- 4) 会計の出納閉鎖期が12月31日のため本日の理事会以降予備費の流用および予算上の微調整は会長に一任することを承認。

# 母校だより

## 水道橋病院障がい者歯科

### 『スペシャルニーズ デンティストリー』

口腔健康臨床科学講座障害者歯科学分野

准教授 大多和 由 美



わが国の障害者歯科診療は1960年代から全国各地で取り組まれるようになり、現在では地域の障害者歯科センター（口腔保健センター）をはじめ、開業歯科医院、病院歯科、歯科大学・大学歯学部附属病院などで広く行われています。千葉病院では障害者歯科外来Ⅰ、Ⅱという外来を開設しております。

水道橋病院でも小児歯科や歯科麻酔科を中心に障害者歯科診療を行ってまいりました。しかしながら、受け入れの体制が一本化されていなかったため、ご紹介いただく同窓の先生方からは、わかりにくいというお声も頂戴しておりました。そこで昨年9月から水道橋病院に「障がい者歯科」が診療科として立ち上げられました。

日本障害者歯科学会では、「これからの障害者歯科の使命は、障害のある人という狭義の枠を超えて、スペシャルニーズのある人を対象として行われる包括的な生活支援において、歯と口腔機能の面で専門的立場から、また超職種的にも関与していくことである」ことを基本的な理念としています。このスペシャルニーズのある人とは、全ての年齢層で歯科保健や歯科治療を行うときに特別な配慮や工夫、知識と技術をもって対応することが必要になる方々です。近年教育現場でそして急速な高

齢化と少子化の進行、疾病診断と治療法の著しい進歩によってスペシャルニーズのある方は増大しています。

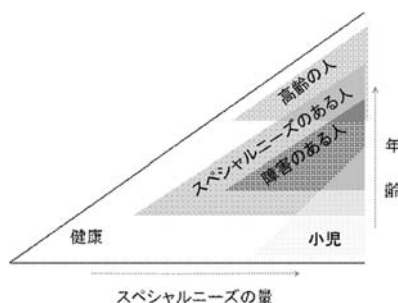
スペシャルニーズのある人や家族の方からさまざまな要望が出されます。そのときどきの要望に答えるだけでは、必ずしも本質的な解決にならないこともあります。要望を満たすだけではなく、専門的視点から観察、分析することによって潜在化している問題点を見つけ出し、それを解決することが重要です。それによって潜在的な能力が引き出されリハビリテーションが促進されたり、ライフステージに見合ったQOLの向上が期待されます。

診療は、さまざまな理論に基づく行動調整の技法を応用しながら進めます。患者様のニーズや状態に合わせて全身麻酔、意識下で行う鎮静、体動抑制や行動変容まで幅広い行動調整法を選択します。障害者歯科学会指導医2名、認定医1名、歯科麻

酔科認定医を中心に水道橋の診療科全体のスタッフの協力を得てカスタムメイドのチーム診療を行います。診療室は小児歯科外来、専門外来、歯科麻酔科外来を患者様に合わせて選択します。

歯科医療の立場から、口腔疾患の予防、口腔ケア、機能訓練を通して口腔機能の回復、発達支援を行い、健康づくりのサポートをしていきたいと思えます。

水道橋病院における障害者歯科の専任としては、私がスタッフとして診療にあたらせていただきますが、従来の診療科の垣根を越えて最善の診療をコーディネートする役割も担っており、充分にご相談の時間を取ってまいります。患者様のニーズ



に合わせた診療を進めるため、お待たせしないためにご予約をお願いいたします。また、来院前のご相談もお待ちしております。よろしくお願ひ申し上げます。

お問い合わせ先  
東京歯科大学水道橋病院  
障がい者歯科・小児歯科

共通直通 03-5275-1723  
大多和由美  
e-mail ohtawa@tdc.ac.jp



## 水道橋移転（新血脇ホール）に対する クラス会（昭和55年卒・翔蜻会）より大学へ寄付

水道橋移転に伴いクラス会（昭和55年卒・翔蜻会）より新血脇ホールの備品費として寄付の贈呈が有りましたことお知らせします。大学へ寄付（卒後30周年記念）

平成21年12月22日（火・大安）午後3時より水道橋病院・学長室にて、昭和55年卒（翔蜻会）一同から卒後30周年を記念し、大学に対して寄付の贈呈をおこないました。

これは、前回（平成20年）のクラス会総会にて承認されたもので、卒後30年を迎える（平成22年）にあたり、お世話になった大学に何らかの寄付（水道橋移転に併せ、新血脇ホールに残るもの）をさせていただくことになったものです。

当日の贈呈式には、大変お忙しいなか大学から金子学長にご出席していただき、クラス会からは村山利之会長・白井文規副会長が出席して行なわれ、目録をお渡し致しました。

贈呈前には、学長先生より「高歯歯科医学院」「東京歯科医学専門学校」の事、「旧水道橋校舎」の建設秘話等、貴重なお話を聞かせていただきました。

翔蜻会会長の村山利之君は、学生

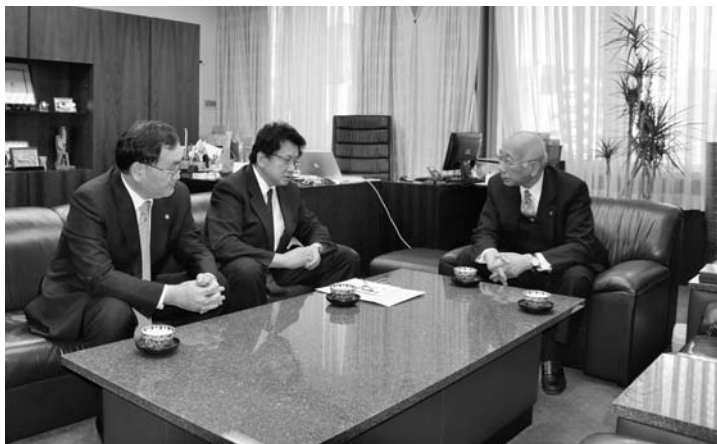
時代「校旗、校歌制定50周年事業」の委員長をした経験や、千葉への移転前に、学生の中から見た「水道橋校舎」の8mm撮影をした思い出等を話し、時間も忘れ約1時間30分にわたり貴重な時をすごさせていただきました。

最後に、学長先生から丁寧なお礼の言葉をいただき、エレベーターま



でお見送りしていただきました。  
新血脇ホールに100万円  
寄付の内容は、下記のとおりです。  
（白井文規 記）

目録
一、新血脇ホールにおける 備品費として 金壹百万円を贈呈 致します
平成二十一年十二月二十二日 第八十五期 翔蜻会一同



# 支部のうごき

## 神奈川県支部連合同窓会

### 平成21年度定時評議員会・定時総会・講演会・懇親会開催

12月6日(日)ローズホテル横浜において、平成21年度定時評議員会・定時総会・講演会ならびに懇親会が開催された。

評議員会は午後2時30分より行われ、冒頭、加藤木 健会長が「1期2年を大過なく過ごすことが出来たのは、会員の皆様のおかげであると感謝しています」と挨拶された。その後、議長に佐久間博一評議員会会長、副議長に村山正之評議員会副会長が選出され議事に入った。

各種報告では、まず、本年度逝去された会員のご冥福を祈り黙祷を捧げた後、平成20年度決算、平成22年度事業計画ならびに予算(案)の承認を求むる件など諸議案について慎重なる審議が行われ、会場からはそれらに対する意見が活発に多く出された。採決の結果、すべての議案は賛成多数で可決承認された。

総会は、加藤木会長の挨拶の後、ご来賓としてお迎えした大山萬夫本部同窓会長、熱田俊之助理事長、金子 讓学長よりそれぞれの立場からご挨拶いただいた。

次に、村山評議員会副会長が議長として登壇。議事が進行した。諸報告の中で、山田 貢会長指名委員会委員長より「次期会長には引き続き、現会長の加藤木 健君(横浜中央支部)を指名する」との報告があり、加藤木現会長の再選が推挙された。また監事には、山下正雄・中村昭仁現両監事が推薦され、それぞれ大きな拍手の中満場一致で再任された。諸議案の審議も順調に進み、す

べての議案は賛成多数で可決承認された。

続いて講演会に移り、金子学長より「大学の現状について」と題してご講演いただいた。

金子学長は、大学の近況をはじめ120周年記念事業、移転計画の現状などについてCG画像も交えながら丁寧に説明された。先生は「我が母校は120年間、脈々と引き継がれた血脈イズムが母体になっていることはいままでもない。この伝統を継承するため是非とも各事業にご賛同ご協力いただきたい」と結ばれた。

懇親会は午後6時30分より、大山同窓会長、熱田理事長、金子学長をはじめ、神奈川県歯科医師会より高橋紀樹会長など多くのご来賓をお招きして開催された。ご来賓の薬師寺 仁副学長、川口 浩衆議院議員からもご挨拶いただいた後、山本照一本会相談役の乾杯の発声で開宴し、途中で、敬老祝賀会員への記念品の贈呈や新入会員紹介などがあり終始和やかな雰囲気の中、懇親の輪が広がった。

最後に、毎年恒例の全員で校歌を斉唱しお開きとなった。

引き続き、同ホテル内宴会場において、本日ご臨席いただいた本部同窓会・大学幹部をはじめとするご来賓の先生方と本会役員との懇談会が行われた。120周年記念事業や移転計画などについて、ざっくばらんな話し合いを持てる絶好の機会とあって、時間の許す限り活発な意見交換が行われた。(宇佐美貴弘 記)



写真が同窓会ホームページ<<<http://www.tdc-alumni.jp>>>に掲載されています。

## 茨城県支部

平成21年12月5日(土)、水戸市の三の丸ホテルにて、総会・学術講演会が開催されました。

総会は、逝去会員への黙祷を捧げた後、荒野 実先生の司会により、山口忠夫支部長の挨拶で始まりしました。来賓として、同窓会専務理事の関 泰忠先生、臨床検査学教授の井上 孝先生にお越しいただき、ご挨拶をいただきました。その後、牧厚志議長のもと、会務報告、21年度会計報告等が行われ、22年度事業計画案、予算案の承認と円滑に行われました。

また、今総会では、長年取り組んできた茨城県支部沿革史「東京歯科大学同窓会茨城県支部100年のあゆみ」が完成し配布されました。多くの方々のご協力の下、沿革史編集委員会、とりわけ編集主幹である小鹿典雄先生のご尽力により、とても立派な沿革史が出来上がりました。かなり古く詳細不明な資料も多く、大変ご苦労されたとお聞きしています。

総会の後は、井上 孝先生により「将来の歯科医師を考え、実際の臨床でやらなければいけない臨床検査」という演題で、学術講演会が行われました。口腔粘膜疾患、基礎疾患を持つ患者さんを診ていく上で臨床検査がいかに重要であるかをユーモアを交えて、とても分かりやすく講演して頂きました。

その後の懇親会は久保木庸輔先生

の乾杯で始まり、終始なごやかな雰囲気でご睦を深め、最後に校歌斉唱をして終了しました。

(篠塚 浩 記)



## 栃木県支部

平成21年度定時総会が平成21年12月6日に宇都宮市のホテルニューイタヤで開催されました。柳川敏夫常任幹事の司会のもと、菊地善郎副支部長の開会の言葉に続き、関谷和夫支部長の挨拶をいただきました。来賓の東京歯科大学同窓会副会長片倉恵男先生、東京歯科大学大学院歯学研究科長の柳澤孝彰先生より、ご挨拶を頂戴いたしました。

総会は、井上清志副支部長の閉会の言葉で無事終了しました。

記念講演は、坂入道子常任幹事の司会で、国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部第三室長の春日文子先生による「忘れてはいけない食品衛生～食育の中でもご留意を～」と題しご講演を頂きました。

昨今、食育の重要性が強く認識されている中で、食材がどのように栽培され、調達され、調理されて食品となるのか、またその過程で、誰が、どのように関わっているのかを深く認識できるような教育を受けることが重要になってきます。しかし、同時に忘れずに教えなければならないことは、食品を介して、様々な病気もまた現実に起きうると言うことです。食品由来疾病実被害疫学レファレンスグループ（WHO FER-G）という団体があり、そこでは、食品由来疾病の被害実情を、世界的規模で、年齢、性別、地域別に推定し、科学的な情報が食品安全行政施策に役立てられるような方策についてWHOに助言するというようなことを行っています。

我が国で報告されている食品由来疾病には、鶏肉とカンピロバクターやサルモネラ菌、牛肉と腸管出血性

大腸菌、牡蠣とノロウイルスなどが、特に重要なようです。お酒の肴でよく食べる生肉は、まずだめでしょうというお話をいただき、会場内が騒然となる場面もありました。

懇親会は、藤森 洋常任幹事の司会で、天沼 隆副支部長の開会の挨拶で始まり、来賓の栃木県歯科医師

会会長柴田 勝先生にご祝辞をいただきました。平山浄二先生の乾杯の音頭で和やかな雰囲気の中宴は始まりました。最後には、恒例の平成ゴスペロール隊による校歌斉唱を行い、藤森常任幹事の閉会の挨拶でお開きとなり、全日程を無事終了しました。

(築瀬 昇 記)





## 千葉県支部

### 平成21年度定時総会

去る12月6日(日)平成21年度東京歯科大学千葉県同窓会定時総会が京成ホテルミラマーレにて開催されました。

総会に先立ち、午後2時から宮地建夫先生を講師にお願いし「長期観察症例から今後の歯科治療の展望について」という演題で、30年以上経過し80歳以上になった数々の症例を基にこれからの臨床歯科医のあるべき姿について大変有意義なご講演をして戴きました。

総会は午後4時開会し、点呼の後、物故会員甲意、曾我部 勉会長挨拶と続き、来賓の東京歯科大学千葉病院病院長石井拓男先生、東京歯科大学同窓会常任理事宮地建夫先生、東京歯科大学市川総合病院副病院長代理外木守雄先生、千葉県歯科医師会会長浅野薫之先生からご挨拶を賜りました。

宮地先生からは本部理事会の近況について。外木先生はパワーポイントを使用し、東京歯科大学市川総合病院での教育、診療内容、経営状態の説明。特に救急受け入れについては病院全体で11,213件。歯科は1,221件。歯科の救急搬送については181件であったとの報告。浅野先生からは県歯会長就任に対して協力のお礼、政権交代に対しての県歯の対応、レセプトオンライン化の現状、事業税見直し、公益法人についてなど多岐にわたりご説明戴きました。

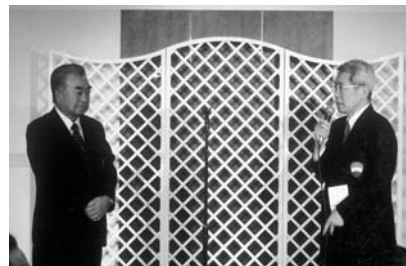
議長・副議長に北浦利明先生、内山 茂先生が選出され、報告、新入会員紹介、議事と続き、上程された議案はすべて賛成多数で可決。役員改選に関する件では曾我部 勉先生にもう一期お願いすることが満場

一致で可決され、監事には門屋高靖先生、西山 弘先生が選出。さらに協議では「東京歯科大学千葉県同窓会会則並びに共済規定の見直しについて」来年上程するまで十分な検討のお願いがあり閉会となりました。

懇親会では元千葉県歯科医師会副会長池田 漠先生の旭日双光章受章、東京歯科大学名誉教授川島 康先生の瑞宝中綬章、前副会長黒田光煌先生の厚生労働大臣表彰の受章お祝いがあり、東京歯科大学千葉病院院長石井拓男先生からご挨拶の中で、総会当日までの3日間東京歯科大学千葉病院で行われた臨床研修指導医のワークショップについての説明、また地域連携委員会の中で毎回話題となる千葉病院の今後について「大学が水道橋移転後も千葉病院は

現在と同じ医療提供を行えることを報告している」とのお話がありました。その後乾杯と続きましたが、同窓会と大学の更なる発展のため、大学関係者との有意義な話の場を持たせたことを申し添えます。

(中村 孝 記)



## 横浜北部支部

### 平成21年度定時総会、懇親会開催

平成21年12月5日(土)午後6時30分より新横浜国際ホテルに於いて横浜北部支部定時総会、懇親会が開催された。

当日は会員20名の出席者があり、総会は大橋庶務の司会により、犬飼和春副支部長の開会の辞に始まり、中島史和支部長の挨拶が行なわれた。

杉原 惇議長のもと会務報告、村田拓也会計より21年度会計現況報告、また一週間前に開催された本部同窓会評議員会の報告が中島支部長より行なわれた。また議事もすべて滞りなく承認された。次期支部長の選出については中島支部長のあと一期存続が決定された。

大学移転については、過去に行なわれた稲毛移転、今回行なわれる水道橋移転に対して、年齢差のある中、出席会員全員から発言があり、改めて同窓としての絆を強く感じた。岩本正晃副支部長により閉会の

辞が行なわれた後、懇親会の席で、神奈川県支払基金審査委員の矢島 満先生より、今年の6月以降変更点の多い神奈川県支払基金の保険請求についての解説がなされた。総会終了後2次会に移行し、久し振りに夜遅くまで歓談し、親睦を深め合った。

出席者は以下の通り

木村(S25)、西山(S28)、花井(S30)、村田(S34)、小笠原(推薦)、佐藤(S39)、藍原(S41)、中島(S42)、飯嶋(S46)、岩本(S46)、犬飼(S47)、杉原(S47)、大橋(S50)、矢島(S52)、小笠原(S56)、関口(H1)、猪狩(H1)、花井(H4)、安藤(H7)、村田(H7)

(大橋 擁 記)



## 横浜鶴見支部

### 鶴見東歯会会員旅行

10月31日(土)より1泊で厚木飯山温泉「元湯旅館」において12名の参加のもと行われた。

午後6時すぎ、鶴見から電車を乗り継いで来る者、愛車のハーレーで東名高速を疾走して来る者、終診後、車に便乗して来る者など、それぞれの交通手段で無事に全員が旅館に到着し、早速露天風呂につかり、日頃の疲れを癒した。

午後7時30分より宴会場にて、めでたく古希を迎えられた、本会員である大庭靖士先生(鶴見歯科医師会監事)と還暦を迎えられた井澤政紀先生(鶴見歯科医師会会長)のお祝い会が開催された。旅館の粋な計らいで、金屏風と紫(古希)と赤(還暦)のチャンチャンコと帽子が用意され、まずは記念撮影。主役のお二人は、「金屏風なんて結婚式以来だよ」とこれまた旅館からの素敵なお花のプレゼントに満面の笑み。

はじめに酒井眞一会長が挨拶された後、お祝い品ならびに目録の贈呈が行われた。大庭先生、井澤先生は誰もが認めるグルメで大食漢。そこで埼玉県日高市にある牧場「サイボクハム」の高級豚肉セットの目録と、豚肉に一番合うという2005年のフランスワイン。ご存じの通り、鶴見東歯会は呑ん兵衛が多く、せっかくのお祝い品、「ちょっと味見しよう」と危うく詮まで開けられそうな勢い。この後、和装姿の美人コンパニオンも加わり、カラオケもはじまるのに最後に謝辞では呑んだ気がしないと、ここでおふたりから謝辞があり、両先生の益々のご健勝を祈念して大きな拍手が送られ、乾杯へと移った。

窪田 顕先生の声高らかなる乾杯



の発声で宴会スタート。名物の田螺の佃煮や、シシ鍋をつまみながら大いに盛り上がった。ほろ酔いになったところで、参加者全員から一言ずつお祝いの言葉が披露され、おふたりは嬉しそうに耳を傾けておられた。また、鶴見歯科医師会専務理事からも心温まる祝電が届き、会場の盛り上がりは最高潮。カラオケもはじまり呑めや歌えや踊れやのドンチャン騒ぎ。秋の夜長、明け方近くまでじっくり呑み続けた。

翌朝は、幻想的な朝もやの中、川のせせらぎと鳥のさえずりを聴きながら、部屋の露天風呂で朝湯。冷えたグラスビールを風呂桶に浮かばせて迎え酒。まさに至極のひとときであった。朝食後、自由解散となった。

(写真上)

### 忘年会開催

12月19日(土)午後7時30分より、大衆酒席「正木屋」において13名の参加のもと開催された。

参加者たちは、開会1時間も前から続々と集合。まずは温かい緑茶を啜り談笑するも、「呑んじゃうか」の一声で開会前に生ビールをグベリ。いよいよ定刻となり、酒井眞一会長の挨拶の後、吉田礎久先生の乾杯で宴会が始まった。

前菜の白子に始まり、脂の乗った刺身から、名物のモツ煮、うなぎの肝焼きに締め握り寿司まで、今年も鶴見東歯会特選メニューの数々がテーブルに並び、さらにお酒も進み、満腹になった。

毎年恒例の会員近況報告では、相変わらず景気が悪いが、なんといつでも健康第一でよい年にしたいとそれぞれに来年の抱負を語った。

デザートメロンをスプーンで豪快にすくって平らげ、来年めでたく喜寿を迎える香山欣哉先生が閉会の辞を述べた後、窪田 顕先生の一本締めでお開きとなった。(写真下)

(宇佐美貴弘 記)



## 横浜南部支部

### 平成21年度総会・懇親会開催

平成21年12月12日(土)午後6時半より、横浜市金沢区能見台のレストラン『山水』において平成21年度の総会ならびに懇親会が開催された。

総会は鈴木信治専務理事の司会で進行し、玉井達人支部長が本年度の当支部の活動状況、神奈川県支部連合同窓会の状況、本部同窓会の現況など、報告を兼ねた挨拶を行った。引き続き来賓にお招きした神奈川県支部連合同窓会島村 大副会長にご挨拶と保険診療の現況について詳しくご説明いただいた。大変わかりやすく、有益なお話に会員一同聞き入った。

その後田中五郎庶務担当理事より会務報告が、また甲田正治会計担当理事より会計報告が行われ、ついで議案に移った。今期は役員改選期にあたり、満場一致で玉井支部長が再選された。平成21年度会計ならびに平成22年度事業計画ならびに予算案も滞りなく承認された。

総会后、懇親会は山下正雄会員の

乾杯のご発声で開始された。途中で生活保護法医療功労横浜市長表彰を受賞された鈴木専務理事への記念品贈呈が行われ、大きな拍手が贈られた。和やかな雰囲気の中に時は過ぎ、『山水』自慢のイタリア料理を食し、一同満腹になったところで、ちょうど時間になり山下 誠副会長

の閉会の辞でお開きになった。

(村岡 斉 記)



## 川崎支部

### 学術懇親旅行の報告

川崎支部において毎年恒例学術懇親旅行が熱海「金城館」にて行われました(6月13日土曜日より一泊二日)。

今回は母校東京歯科大学口腔インプラント学講座より矢島安朝教授をお迎え、「CHANGE We Can Believe in」インプラント医療は変わる『検査、コンセンサス、事故の教訓から』を演題に熱弁をふるっていただきました。

我々の日常臨床において多く行われるようになってきたインプラント治療をより安全・安心に行うために、様々な正しい evidence に基づく consensus が必要であり、例としてX線 CT による画像診断や骨機能等に関する臨床検査の必要性を挙げ、我々に深い感動を与えました。また会員による活発な質疑応答が行われ、大いな盛り上がりを見せました。

講演終了後は各自大浴場・露天風

呂を満喫し心身癒されたところで、19時より矢島教授を囲みながら飯田会長以下会員16名による懇親会が行われました。古賀副会長の開会の辞に始まり飯田会長、矢島教授の挨拶、中川宏明君による乾杯の音頭が行われ、和やかな雰囲気の宴会が催された後は2次会がカラオケルームにて盛大に行われ、会員皆大満足の内にも幕を閉じました。

翌日は各自朝食後解散となりました。非常に楽しく有意義な二日間でありました。今回は多くの方々にご参加いただきありがとうございます

た。次回もまたよろしくお願ひ致します。

今回の会員参加者および卒業年度は飯田涼二(昭35), 中川宏明(昭33), 古賀克隆(昭42), 関 暁子(昭43), 作間敏信(昭45), 松島秋良(昭46), 福嶋 徹(昭47), 松本 純(昭48), 大塚 隆(昭50), 松村照代(昭57), 中島信也(昭59), 中野昌則(昭60), 杉之内俊郎(昭61), 大塩美樹子(昭61), 川越元久(平1), 島 夏夫(平6) (島 夏夫 記)



写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

## 横須賀・鎌倉支部

平成21年度横須賀鎌倉支部総会が去る平成21年12月19日(日)午後7時より横須賀市緑が丘の「魚藍亭」にて開催された。

冒頭、谷 繁信支部長が挨拶に立ち、その中で本部同窓会評議員会総会、県同窓会評議員会総会の報告を行った。創立120周年記念事業、水道橋移転計画につき説明を加えた後、2期4年の任期を全う出来た事への会員の協力を謝意を表明した。次期支部長は慣例に従い、鎌倉地区よりの選出が既に決まっており、満場一致で勝畑知雄君が選出された。勝畑次期支部長からは、親睦をより深めたいので全会員の一致した協力を求める挨拶があった。

次いで学術講演会が、神奈川歯科大学社会医歯学系社会歯科学講座法医学分野教授の山田良広先生より「足利事件のDNA鑑定を検証する」と題して行われた。

DNA 鑑定の第一人者である山田先生は、北朝鮮に拉致された方のお孫さんの鑑定をされた事でも有名である。

DNA 鑑定についての基礎的な説明から豊富な経験に基づく事例にまで興味深いお話を頂いた。特に最近話題となっている足利事件についての問題点に言及された。一同色々と考えさせられ、感銘を受けた。その後、最長老川村 昇君の乾杯の発声により懇親会に移った。

日頃交流の少ない横須賀と鎌倉ではあるが、酒を酌み交わして旧交を暖めあった。昭和20年卒84歳から平

成8年卒38歳までの年代を越えた交流も同窓会ならではの交流である。

平成21年4月に横須賀市歯科医師会会長に就任した佐久間博一君よ



写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

り、同窓会の協力に感謝を述べつつ閉会の挨拶があり、和やかに会を閉じた。

出席者：川村 昇, 井上長生, 伊東兼明, 中村佳晃, 勝畑知雄, 熊沢満夫, 越宗勝年, 井上 晃,

谷 繁信, 伊東博敬, 原 宣道  
(谷 繁信 記)

## 山 梨 県 支 部

平成21年12月5日(土), 甲府市内のホテル談露館において平成21年度支部定時総会が開催されました。冷たい雨の中, 会員の約半数にあたる40名余りが出席, 来賓として同窓会本部より副会長片倉恵男先生, 大学より副学長薬師寺 仁先生, また講演会の講師に口腔健康臨床科学講座口腔インプラント学分野准教授の関根秀志先生をお迎えいたしました。

総会は細川敏彦庶務の司会ですすめられ, 長久保文夫支部長の各種報告を兼ねた挨拶に続いて, 片倉先生からは, 緊急時歯科医師委嘱制度, 役員改正を含め同窓会の現況を, 薬師寺先生からは, 全国的な歯学部志願者減少傾向を食い止める為に苦

慮されていること, 大学の水道橋移転の現況, 創立120周年記念式典等についてお話を頂きました。そして“水道橋移転”に関しては, 会員から, 母校のより一層の発展と結束を切に願うとの想いも聞かれました。その後, 議長に小倉 信先生が選出され, 報告・議事を進行。今回は「東京歯科大学同窓会山梨県支部会則」の改正と「東京歯科大学同窓会山梨県支部基金規程」の改正がされ, これを含む全5議案が承認可決され終了致しました。

続いて, 関根秀志先生に『患者を中心とした欠損歯列への対応を考える』と題してご講演いただきました。現在急速に広がるインプラント治療ですが, その治療後に起こる諸

問題を取りあげ, 中でも偶発症については“地雷”, “時限爆弾”と表現され, 貴重な症例スライドや豊富な資料と供に経験を交えて丁寧にお話しして下さいました。常に患者を中心に考えながら, 治療に踏み切るタイミングをしっかりとみきわめた上で, インプラント適用を決めることがいかに大切かを痛感しました。質疑応答も活発に交わされ大変有意義でした。

全員での記念撮影後に行われた懇親会は, 金山公彦先生の乾杯のご発声で宴に入り, 来賓の先生方を交えて和やかなムードの中, 甲州ワインを飲みながら恒例の“変則”ビンゴの景品に一喜一憂, 時間いっぱい楽しく過ごし万歳三唱で閉会となりました。

(中野いずみ 記)



## 東 信 支 部

信州に本格的な冬の訪れを感じさせた平成21年11月29日(日)午後2時より、上田「ささや」にて東京歯科大学東信支部同窓会総会・学術講演会ならびに懇親会が開催された。開会の辞に続いて、佐藤秀道支部長により、会員同士の親睦を図ることが各々の結束をより強固なものとし、厳しい社会情勢を乗り越えていくひとつの力となるとの挨拶があった。引き続き報告に移り、担当役員より今年度事業報告・会計報告ならびに会計監査報告が行われた。また前日に行われた同窓会評議員会・定時総会について佐藤支部長より、水道橋移転ならびに創立120周年記念事業の現況等についての説明があった。続いて議事では来年度事業計画や予算案が上程されたが、執行部の原案通り可決承認された。

総会終了後、東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科教授ならびに口腔がんセンター所長山根源之教授をお迎えして「日常診療における口腔粘膜疾患への対応」と題した学術講演会が行われた。日常たびたび

遭遇するものから減多に目にすることのない稀な粘膜疾患まで、豊富な臨床写真を基にそれぞれの鑑別点と治療法について、時にユーモアを交えてのお話は時間を忘れるほどであった。その中でも印象的だったのは口腔がんに対する取り組みで、口腔がんの啓蒙に幅広く活躍される山根教授に感銘を受けるとともに、日常の診療に流されがちな自らの姿



勢を正された思いであった。

記念撮影後、山根教授を囲んでの懇親会となり、学生時代や医局員時代にお世話になった思い出を語りあったり、講演に関する質問がされたりと終始和やかに時間が過ぎていった。恒例となった小池平一郎先生のリードで校歌斉唱し、山浦俊一先生の万歳三唱で盛会のうちにお開きとなった。

(松原 茂 記)

## 愛 知 県 支 部

### 平成21年度総会

12月6日(日)午後3時より、平成21年度愛知県同窓会総会並びに記念講演会が名古屋クラウンホテルにて開催されました。来賓として、千葉病院副病院長で大学法人主事の高野伸夫教授、前愛知県同窓会会長で、本部同窓会副会長の神谷龍司先生をお迎えしました。

まず、牧野健司会長より挨拶があり、苦しい財政状態にもかかわらず

会員の理解と役員の奮闘努力により今年度会計をしっかりと立て直すことができたことへ感謝の意が述べられ、また、東歯120周年に因んで血脇守之助先生が登場する下記の書籍※の紹介もされ、改めて東歯の歴史の重みと先人の偉大さを思い起こすことができました。

※「我、弁明せず。」江上 剛著  
(三井財閥のトップを務め、日銀総裁、大蔵兼商工大臣も経験した

池田成彬という人物が主人公の経済小説で、この小説の中で血脇守之助先生が登場する。)

これは余談ですが、思えば私の長男が小学生の時「講談社学習コミック 野口英世」という漫画の本の中で血脇守之助先生が野口英世の恩師として登場する場面を見て、「パパの東京歯科大学が出てる」と言ってきたので大変うれしく且つ誇らしい気分になった記憶がよみがえってきました。話を本筋に戻して、続いて高野伸夫教授より、その誇らしき東

京歯科大学の入学試験及び好成績の国家試験合格率など現況を報告していただき、同窓会員が大変気になっている大学移転に関する計画をわかりやすく丁寧に説明していただきました。この後、議長に西 武司先生が選出され、各部担当常任理事より事業報告、成瀬 健専務理事より東海地域支部連合会総会の報告、山田有評議員より本部評議員会報告等、議事として平成22年度事業計画及び収支予算等が議論の後承認され、最後に、辞意を表明された牧野健司会長の後任に山田 有現副会長が新会長に、夫馬眞也先生、穂積良治先生、竹内博之先生が新監事として選出され、閉会いたしました。

次に、昭和53年卒業の橋本雅範先生を講師にお招きし「骨粗鬆症における歯科の役割～医科と歯科の連携による新たな展開について～」と題して記念講演会が開かれました。

橋本先生は、愛知県歯科医師会の骨粗鬆症連携推進委員会委員長をされており、愛知県の「骨粗しょう症対策医科歯科連携事業」の中心人物として大活躍されており、いつもながら豊富な資料で興味深い講演をしていただきました。最後に会場を移動して懇親会を行い、和やかな雰囲気

でお酒を酌み交わしお開きとなりました。

写真は左から、牧野健司前会長、高野伸夫教授、講師の橋本雅範先生、神谷龍司先生、山田 有新会長、成瀬 健専務理事です。

(竹内英樹 記)



## 島根県支部

### 平成21年東京歯科大学同窓会

去る10月31日(土)、11月1日(日)の両日、島根県歯科医師会館にて同窓会本部より神谷龍司副会長と、学術講演講師二階堂雅彦先生(東京都開業)をお迎えし、平成21年東京歯科大学同窓会が行なわれました。昨年と同様、学術講演会を2日間に亘って十分に時間をとって行なわれました。31日は、14時半～16時まで『重度歯周炎にどう対処するか?』と題して二階堂雅彦先生よりご講演いただきました。16時15分～17時45分まで総会が行なわれました。総会は高木支部長の挨拶から始まり、会務報告の後、神谷龍司先生より千葉校舎の水道橋移転問題について経緯と現在の状況について説明をいただ

で親睦を深めました。

11月1日9時半～12時『再生療法の歯周治療、インプラント治療への応用』と題して、二階堂雅彦先生よりご講演いただきました。その後、多数の先生方出席で2次会(ヤングイン)

11月1日9時半～12時『再生療法の歯周治療、インプラント治療への応用』と題して、二階堂雅彦先生よりご講演いただきました。

(青戸弘陽 記)





# ふるさと自慢 ～私のお気に入り～

## 「もうひとつの京都」

### 京 都

#### はじめに

題名の通りに、私の住んでいる京都を自慢すると言う事になると枚挙に暇がありません。

そこで、在京25年を経て、知り合った人物と、その事により広がった未知の世界について、紹介させていただきます。

#### 初釜の経験

それは、京都へ来てから4年目の秋、私の父（本学昭和9年卒）の1年先輩である、京都市中京区で歯科を開業されている大津新一先生に、ライオンズクラブに入会しなさいと、ほぼ強制的に勧誘された事により始まりました。

そこには、京都を代表する多くの名士が在籍されていて、特に表千家堀内長生庵前主、堀内 宗心先生を知ることが出来た事は、私の一番の喜びとなりました。その人間性は、黙してなお存在感があり、それでいて謙虚なものでありました。その先生の呼びかけで、毎年表千家の初釜に参加させて頂く事ができ、数年前より夫婦してお正月の行事となりました。

通常、数日間1日に2、3回開かれるようですが、私は、夕方からの部に行かせて頂いています。まず受付の後、最初に薄茶を20名ずつで戴きます。その席を取り仕切っておられる方が、堀内先生であります。その後、もう少し広い不審庵の代表的な部屋にて濃茶を戴きます。濃茶は、家元である千 宗左が自ら点てられ、1回のお手前で6～7名位の量を順番にある一定の作法のもとに戴きます。

参加して2年目の時には、私は正客の役目をいただき、冷や汗をかきながら、何とか無事に終えた苦い経験もありました。その席を終えると、

場所を移してお正月の茶懐石が用意されていて、それを戴きます。もちろんお酒もあり、家元以下多くのお弟子さんにより注いで頂き、お断りせずにいると、かなり出来上がってしまいます。この食事中的もう一つの楽しみは、福引であります。当たりくじは4名あり、なかでも一番くじは、家元の四文字の書が当たります。それは、表装した後、箱書きもして頂く事が出来る特典が付いています。皆そこで一喜一憂!!

全行程の時間は、ほぼ二時間半であります。家元もクラブよりの紹介のグループには、素人として甘く対応して頂いている事は言うに及びません。

最後に、もし来年にでも参加されたい方はお知らせ下さい。数名であれば参加できるよう、お頼みさせていただきます。

（昭和48年卒 永田賢司 記）



表千家不審庵理事、長生庵前主 堀内宗心（クラブ同好会にて、H21年11月）



掛軸と著者（本年初釜にて）秀吉が千利休に塾居閉門を解いた時の文章が掛軸となっている。例年、初釜にはこの掛軸が使われている。



表千家家元不審庵 理事長 千 宗左（本年初釜にて）もう少し左に移ってチャッターを押しかけたかったが目立ちすぎるのでこの位置になった。顔に柱が被っています。（もちろん御本人にお許しを頂いています）

# クラス会だより

## クラス会開催日程

弥生会(昭和54年卒) 衆議院議員 川口 浩君を囲む会	とき 平成22年3月21日(日)午後5時より ところ 水道橋「東京ドームホテル」 B1「シンシア」
--------------------------------	---

今号は卒業年度の新しい順に掲載しました

## 破竹会

昭和59年卒

### 25周年記念総会・特別講演・懇親会報告

平成21年11月22日、新宿の小田急センチュリーサザンタワーのパークルームにて井出吉信先生、齊藤力先生2名をお迎えし、78名の会員と総勢80名で、破竹会第11回総会・特別講演・懇親会が盛大に開催されました。

総会は、鈴木代表の挨拶に始まり、堤君より「破竹会旗」完成の報告と制作の経緯の説明がありました。旗の完成を見ることなく逝ってしまった常磐君と、破竹会20周年の

時から計画していた事も判り、あらためて破竹会を愛する熱い思いが伝わりました。

鈴木代表と会員全員の破竹会への思いの象徴としての「破竹会旗」の下に、末永く集まることを誓いました。

特別講演は、井出吉信副学長により東京歯科大学の水道橋移転計画の詳細な説明がなされ、同窓の協力、特に子弟の入学のお願いがありました。

懇親会では鈴木代表の「誰にも平等に与えられたもの=時間という大

切なものがある」という心に残る挨拶がありました。続いて高知より出席の池田君による乾杯の発声、齊藤力先生からは「外から東京歯科大学を見るとその大きさがよく判る」という、力強くそして、心強い祝辞を頂きました。

堤君製作中の25周年記念アルバムDVDの上映される中、順番に近況報告は続き、3時間があっという間に過ぎました。2年後、角倉君の待つ弘前での地方総会での再会を楽しみに解散、と言う訳に行かず、2次会3次会4次会と懐かしい仲間達との夜は終わらなかったようです。

(青木雅司 記)



## 水 真 会

昭和58年卒

去る平成21年10月10日の土曜日、清々しい秋晴れの中、午後4時より水道橋病院2階の会議室において2年に一度の水真会総会そして講演会が行われました。

総会では杉山哲也君が議長に選出され、はじめに平成21年6月に薬効虚しく亡くなった青森の小田嶋 亮君へ黙祷を捧げました。その後、順調に報告事項ならびに議事が進められました。

続く講演会では、水道橋病院で准教授として活躍中の大多和由美先生、古澤成博先生のお二人に講師をお願いし、大多和先生には「小児歯科医からの提案」、古澤先生には「難治性根尖性歯周炎の原因とその対処法」と題して普段はなかなか聞くことの出来ない貴重なお話を聞くことができました。更に学年主任でお世話になった名誉教授高添一郎先

生、町田幸雄先生にもご出席頂くことができ、学会場さながらの活発な質疑応答が繰り広げられました。

その後の懇親会は屋形船に乗るべく、場所を浅草橋に移しました。この企画は、2年前のリベンジとでも言うのでしょうか、季節はずれの台風襲来で、止む無く中止となってしまった前回でしたが、今回再度企画され、とうとう実現に漕ぎ着けました。発案者である懇親会役員の手原泰司君2度にわたる企画本当にお疲れ様でした。

19時過ぎ、懇親会からの参加者と副主任であった伊藤彰人先生も合流して総勢26名を乗せた屋形船は、隅田川を下り、お台場に向けて出航いたしました。

船上から見る都心の夜景は格別で、心地よい秋風と美しい夜景を楽しみながら、新鮮なお刺身や揚げた

ての天ぷらなどの美味しいお料理とともに酒盃を交わしました。

無事に2時間あまりのクルーズを終え、ほとんどが浅草橋駅に程近い二次会会場の居酒屋に席を移して夜が更けるまで、お互いの近況や学生時代の昔話を花を咲かせていました。

私たちも 早卒後26年が過ぎ、アラフォーならぬアラフィフティを越えました。皆メタボリックを気にしているのか、お酒の量も食事の量も以前よりだいぶ少なくなった気がしたのは私だけでしょうか。

これからは特に健康に気をつけながら、無理をせずに、仕事や遊びに頑張っていきたいものです。今回は、何かと話題の宮崎から浜田 剛君が出席してくれました。遠くから本当にありがとうございました。

次回も、またその次の水真会にも一人でも多く元気な姿で集まれたらいいなあと思った一日でした。

(千葉 緑 記)



## 福 祉 会

昭和44年卒

平成21年10月31日土曜日のクラス会は40回目の記念すべき総会だ。クラス会未開催の四国地区での開催希望が多く、香川県で開催することとなった。

今回は大阪に前日30日に集合し、明石海峡大橋を渡って淡路島経由鳴門で一泊し高松を目指すバスツアーでスタートした。久しぶりに会った旧友はガイドさんの案内には耳も貸さず、おしゃべりで盛り上がり、あっという間に鳴門に到着。

ダイナミックな「うずしお」に感動し、壮大な大塚国際美術館の古代宗教画から現代アートの陶板画に圧倒され、鳴門で一泊。

翌朝、ホテルの窓越しに見える御来光に歓声を上げた。バスで高松に向かい、高松栗林公園をボランティアガイドの案内で散策し、その後屋島、高松平家物語歴史館を訪れ、遠

く源平の歴史に触れた。しかし、期待の「讃岐うどん」はサービスの悪さに失望し、夕刻、総会の会場「全日空ホテルクレメント高松」に到着した。途中、鳴門のホテルの部屋の金庫に財布を忘れる騒ぎがあったが、学生時代卓球部同士の縁で、山口順康君がナイトぶりを発揮し解決！

記念写真撮影で第40回福祉会総会は始まった。5日前から神戸を出発し、しまなみ海道を通過して、自転車で瀬戸内一周を試みていた高山君が高松を目前にタイヤのパンクで到着が遅れ、ツーリングスタイルで写真撮影に参加してもらった。

幹事のあいさつに続き、席田代表のお話し、福祉会のプール金を総会開催連絡準備経費に活用する提案がなされ、承認された。その後、柿澤教授から水道橋移転を中心に大学の

現況の説明があった。

地元の黒田泰行君は体調不良で欠席、久しぶりに再会した香川の兼松君の嬉しい挨拶の後乾杯し、総会懇親会はスタートした。いつものことながら懇親会を盛りあげる出し物も必要なく、久しぶりの再会で、各々テーブルを移動し、会話と笑いで、時間のたつのも忘れ、二次会、そして三次会と話が盛り上がった。

翌日、バスで金毘羅宮に行き、本殿まで785段の階段に挑戦したが、最初からタクシーを活用する者、途中で何かと理由をつけてリタイアする者、夫婦で参拝すると御利益が遠ざかると気にする者、7割の者が往復健脚を發揮した。その後瀬戸大橋を渡り、お昼過ぎに岡山に到着し、第41回クラス会で再開することを約して解散した。

(高木勇藏 記)



# 志 学 会

昭和42年卒

卒後42年、29回目の志学会総会は10月17日鳥取市で開催された。市内のホテルモナーク鳥取には会員30名が夫人等11名と共に参集した。鳳翔の間で進行に羽生君、議長に高橋君がなり、総会は大岡会長の挨拶、会務報告、会計報告と順調に進み、途中キッチンと慕われた担任の木村吉太郎先生に黙祷が捧げられた。

大学現況として黒須君からは大学移転が粛々と進んでいることが報告され、次期総会は三重県鳥羽に決まった。幹事は加藤君である。鈴木君の閉会の辞で総会は無事終了、次に夫人等も加わり記念撮影となった。仁鳳の間では担当幹事田中君の挨拶、中川君の乾杯で開宴にぎやかになった。ノドグロの煮付け、貽貝のお吸い物、鍋ものなどがテーブルを彩った。途中、田中君知己によるピアノ、ヴォーカルでスタンダードジャズが流れ、奥様もピアノを披

露、ジャズの夕べが演出された。時間も過ぎ加藤君が一応2次会へと……。カラオケルームでも現在、これからの話ばかり過去はもういいらしい。年である。明日もあるので皆早々にホテルの部屋に3次会はなし、やはり年である。

2日目は30名程がバス観光に参加、9時にホテルを出発まず山陰の松島といわれる浦富海岸を目指した。予定の遊覧船が波高く欠航、岬から小島を展望した。その島影は鋭いように見えたが一幅の日本画になっていた。遊覧船の発着場網代新港では干したイカが傘のようにまわっていた。鳥取といえば砂丘で、次の目的地だがその前に砂の美術館を見学した。彫刻というより塑像で大聖堂、教会、舞踏会、砂漠の民など各国からのアーティストの力作が展示されていた。道路ひとつ隔てると眼前に砂丘が！やはり広く、大きい、砂もかなりきめが細かい、海岸

までが遠かった。そしてあのらくだにも出あった。温暖化、緑地化に始まり話がアラビアのロレンスに及ぶころ賀露港での和食昼食となった。つぎに明治時代に建てられた仁風閣を訪ねた。白亜の館で赤坂離宮と同じ設計者とか広い庭の緑によくマッチ、洒落ていて別荘にひとついいかもしい。重要文化財だが館内で結婚式が進行中、我々もほかの観光客同様興味深々だった。

つぎにわらべ館を訪ねた。明治、大正、昭和戦前、戦後のおもちゃ、などが残っていてとくに会員ご幼少の頃遊んだ缶詰再利用のジープ、ひこうき、人形、当てむき(くじ)、日光写真、駄菓子屋にあった懐かしいものばかりよく残っていたものである。今回のバス旅行はここまでで鳥取駅にむかった。駅ではここでもみやげを買ったりして鳥羽での再会を期し三々五々帰路についた。幹事の田中君、奥様、関係者に総会、観光が無事に終えられ感謝します。

(赤穂英生 記)



写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

## 踏 志 会

昭和41年卒

平成21年10月24日(土)に赤倉観光ホテルに於て踏志会会員とその家族合せて46名が参加して第44回の踏志会が開催されました。

総会は6月8日に逝去された早稲田正紀君への黙禱に始まり、平成21年度会計報告、平成22年度予算案の説明があり満場一致で承認されました。次年度の開催は東京と決まりました。

懇親会は八百枝君の乾杯に始まり、ほとんどのみなさんから近況報告等のお話しをして頂き、地元の銘酒鮎正宗、雪中梅、越の寒梅の力も加わってか、大変和やかな盛り上がった宴会となりました。あと言

う間の2時間でした。隣りの長野県の笠原君から一本メで締めて頂き、30名程が2次会へと移りました。1年ぶりあるいは何年ぶりに会うと話がつかないものです。ホテル側の時間ですでの声がかかるまで、ほとんど部屋に帰る人はいませんでした。

前日から宿泊した9名が赤倉ゴルフコースでゴルフをしました。越後の名峰妙高山の麓、周りの景色を眺めながら心行くまでプレーを楽しみました。高橋君がバスコ優勝し、準優勝は山本(芳)君でした。

翌日37名が観光に参加し、NHKの大河ドラマ天地人でお馴染みの春日

山神社、林泉寺、日本のワインの発祥の地である岩の原葡萄園等を駆足で見学しました。もう1時間位長いスケジュールが良い事にその時気がつきました。それでも前日同様天候にも恵まれ、妙高高原の紅葉を見ることが出来、楽しい時間を持って頂けたと思っております。

卒業した年に第1回を行い、毎年続いておりますので、今年44回目となったわけです。役員のみな様のご苦勞を推察しつつ、参加する私にとっては有難いことだと思っております。又来年東京でみんなで再会したいものです。

(丸田五十三 記)



# 歯 士 会

昭和38年度卒

平成21年度の歯士会は、同年10月24日(土)、25日(日)に群馬県草津町の草津温泉大阪屋にて行なわれました。山下幹事長以下、永井、磯、坂爪の4名で勤めさせて頂きました。集合地は、交通の便の関係で、長野県軽井沢町新幹線駅前。永井、磯両幹事が出迎え、観光バスにて大阪屋へ。山下、坂爪は大阪屋にてお待ちしておりました。

総会に先立ち、山下より謝辞。5時より永井の司会で総会が始まり、中川会長の千葉校舎関係の移転、会員の消息等を中心にした挨拶。次に、当会本部の鹿島先生より、会務、会計の報告。続いて、次期当番県(宮崎県)の紹介と松田先生の挨拶にて閉会。引き続き、当館中川社長より大阪屋の由来、歴史、又全国一と云われる、毎分4000ℓの源泉量を誇る草津温泉の歴史等の講演。その後、全員にて写真撮影。

懇親会は、坂爪の進行係にて、松田先生の乾杯の音頭で始まり、和気合々のもと山下のメで閉会。2次会は、磯幹事の案内で、館内のカラオケバーにて開催。参加の皆様自慢の喉を次々披露しつつ、随時散会。

2日目は硫黄の沈殿している源泉地、湯畑を見物後9時に当地を出発。志賀草津高原ルートを通して活火山草津白根山に向う。途中より濃霧が立ちこめ、白根山の駐車場に着了いた時には視界3~4m位で、山頂の火口湖、湯釜も全く見られず。帰路は、群馬、長野県境の山田峠より万座温泉に下り、この辺より視界もよくなり、万座ハイウェイに入ると紅葉が真っ盛りでほっとしました。続いて、最近噴火した浅間山山麓を通過する鬼押ハイウェイに入り、途中天明3年の大噴火の時出来た、鬼に似た奇岩の溶岩原の中にある鬼押出し園にて休憩。以後、中軽井沢を

通過し、旧軽井沢のホテル鹿島の森にて昼食。折返し集合場所の軽井沢駅前に向い、名残り惜しみつつ散会。2日目は、霧と雨に悩まされ、群馬県の誇る雄大な景観をお見せ出来なかった事が残念でしたが、永い間会えなかった皆様方とお会いし、お話が出来、楽しい2日間でした。大変有難うございました。

参加者名(敬称略)

縣 昌子・阿左美純子・荒木 賢・伊藤徳子・今村正子・小田明江・笠原諏訪子・鹿島隆雄・鹿島ルリ子・久保田 晃・久保田和子・白岩良一・高橋昭一・高橋啓子・田代雄二・寺尾伸治・中川武幸・野沢 譲・前田耕道・前田公子・町田玲子・松田聰一郎・松村啓史・松村雄郷・廣田稔・柳 清二・山口弘祐・山口順子・山下知恵子・磯泰巳・坂爪 守・永井秀明・山下雄司。以上33名。

(坂爪 守 記)



## ジーベン会

昭和34年卒

平成21年度ジーベン会総会が11月22日3時から後楽園ドームホテルで開かれた。

開催 司会 杉原伸顕君  
幹事長挨拶 山本啓介君

議長選出で議長の高橋和人君の指示で、昨年度の物故者 明本康正先生（平成21年1月12日）の1名とこれまでの物故者43名に対して黙祷を捧げ、故人の冥福を祈った。

会務報告に移り庶務報告、市町村合併で住所地番の変更が多いので名簿の見直しを本年度中に行い、52周年記念として平成22年度版名簿を発行の予定。（庶務村田基生）

会計報告 渡辺吉明君  
議事

次期開催については、池田 獏君より説明があり、会費も残っているので続けた方がよいとの提案があり場所については幹事にお任せしたいとのこと。

山本啓介君から山口県、津和野について過去何回か模索したが実現しなかったことが述べられた。特に異論はなく一泊二日でも二泊三日でも考えてほしい。

総会 終了  
記念撮影

懇親会は村田基生君司会、来賓の金子 譲学長、柿澤 卓水道橋病院長のご挨拶を頂いた後、乾杯の音頭中久喜 喬先生で会食となり、懇親を深めるため、それぞれの時代を思

い出しながら楽しい会食となった。  
出席者は次の通り

（順不同敬称略）

岩瀬 朗, 石川公弘・和子, 小海優子, 手塚和子, 村田基生, 成瀬隆雄, 萩原弥作, 住井泰之・靖子, 篠原寿宏・恵美子, 山口悦朗, 山田貢, 山本啓介, 横矢重忠, 原島 稔・小賀子, 秀 守生, 石崎 諭・操, 柿原昌一郎, 間宮 亨, 延島三男, 小林喜久子, 大塚昌助・博子, 佐藤剛也, 高柳悦朗・幸子, 武田慎午, 渡辺吉明, 若松 晋, 鈴木恭平, 杉原伸顕, 高橋和人, 池田 漠, 今関広信, 清水秋雄, 大久保雅順, 佐野公人, 寺川国秀, 八木 博, 山田勝朗, 会員37名 奥様7名 合計43名

（村田基生 記）





## いそむ会

昭和26年卒

平成21年10月14日～16日の2泊3日で第58回いそむ会総会並びに懇親旅行が千葉県担当で行われました。14日はJR 総武本線銚子駅の同じホームにある銚子電鉄の待合室に全員時間より早く集合し、レトロの電車にゆられ犬吠駅下車、名物のぬれせんの焼方の実習、学生時代の実習のように賑やかに各自1枚を焼き上げて、4枚の土産を貰って犬吠埼京成ホテルに宿泊しました。ホテルの前に犬吠埼燈台があり、その燈台に半数位の人が99段の階段を登りました。千葉県は天然ガスの上にある様な状態で、どこを掘削してもコーヒー色をした鉱泉なので地方幹事をお受けするのが心配でした。最近犬吠埼の数軒のホテルが協同で1000m掘削した所で透明な温泉に当たったそうで、よい温泉なのでほっとしました。銚子は本州では日本一早い日の出が有名で、元旦の初日の出は犬吠埼の附近は人出で賑やかとの事です。

15日は晴天で各自が早起きし、水平線には僅かに雲がありました、

午前5時44分印象的な日の出を見ました。銚子は醤油の製造工場が多い所で、一番大きいヤマサ醤油工場見学で製造工程のビデオと、発酵の様子、瓶の箱づめ等を見学し、お土産に醤油の小瓶1本を頂きました。売店では各種の醤油をダンボール箱に入れて宅配で送る人や、美味な醤油味のソフトクリームを食べる人もいました。国家鎮護、武道、交通安全の神として有名な香取神宮を参拝しました。参道には大きな石灯籠が建並び、境内には樹齢1000年を越える杉の大木がうっそうと茂り、静寂に包まれた雰囲気ので敬虔な気持ちに成りました。その後小江戸と云われる佐原の町並を散策、日本地図を作った伊能敬忠記念館、酒造工場を見学し、昭和35年頃に帰った様な感じを覚えました。帰途海産物が並ぶウエッセ21に立ち寄り買物に皆さん大忙しでした。連泊のホテルの夕食の席で次回のいそむ会は、角倉先生のお骨折りで22年10月21日に愛知県の渥美半島で行う事が決定しました。皆さん今から予定してぜひご参加下

さい。

旅行3日目の16日も晴天。地球の丸く見える丘展望館に行き、青く輝く太平洋、鹿島灘、銚子市内、九十九里浜と330°の展望を楽しみました。渋谷君と桑田君は良い所を案内してくれたと感動しきりでした。九十九里海岸に沿って進み途中で昼食、その後高速道路を進み楽しみにしていたアクアラインに向い海ほたるに。ここは千葉県木更津市です。東京湾を眺め、ここでも買物が増え皆さん大荷物に成りました。海底トンネルを通り途中の通気孔からは神奈川県川崎市です。品川駅で解散しました。2泊3日の旅でしたが素晴らしい秋の天候に恵まれ、皆様のご協力により無事に終る事が出来ました。地方幹事として感謝しています。

参加者24名、敬称略

阿比留請子、天野夫妻、飯田外茂男、板倉八重子、川崎典子、大森直樹、貝塚夫妻、桑田夫妻、渋谷夫妻、角倉夫妻、武田夫妻、塚田 隆、中尾澄子、成田文治、橋本 尚、山田照子、小峯夫妻。

(小峯 眞 記)



# いとし会

昭和24年卒

卒業60年。いつの間にか信じられない様な年月が過ぎた。この記念クラス会が、平成21年11月27日、銀座並木通り「南蛮1934」で行われた。写真で御覧の通り来賓の金子学長を囲んで、会員19名、夫人家族10名の出席でした。わかりやすくすると後列左より堀君・鈴木夫人・相田夫人・宮田君・小山田君・杉浦君・杉本君・鮎沢君・加藤君・村田君・田中君・神山君・学長・熱田君・杉山君・鈴木君・後藤夫妻・野末君（村尾君賀）斎藤夫妻・前列左より岡田君・和田君・山田君・藤田君（旧北原）・堀夫人・大島夫人・森夫人・阿左見夫人・白川夫人の諸兄姉及び家族の皆さんです。今回は亡くなられた会員夫人・家族にもお声をかけ快諾頂けた。因みに案内状98通送ったがこの結果は順当であろう。どこ迄続くのか不透明だが、将来夫人家族のいとし会になることも楽しく想像できる。

総会は前幹事の記録報告の承認、次期いとし会については幹事一任の御声を頂いた。ついで昨年中逝去の

山口君・井上（純）君・續君・三島君・大溪君・明楽君の冥福を祈り黙祷を行った。

懇親会は金子学長のいとし会への長年の労いと祝辞ではじまった。学長には多忙の中、最後迄我々の歓談に加わって頂いた。乾杯は北海道からご夫妻で出席の後藤君に秋田台蓮寺から寄贈の地酒で音頭をとって頂いた。司会進行は名がつくほど確かな鈴木義政君（だがこの夜珍しく体調悪かった）。ほぼ全員の諸兄より近況といとし会への思いを語って頂いた。片手どころか両手に杖で遠路剛気に出席の田中省順君・少林寺拳法一筋の村田君・貴重な資料持参の学究の徒杉本君・いい齢してスキーとヨットの小山田君、そのほかそれぞれの生き様を垣間見させて頂いた。昨年6月愛知・赤松両君が体調崩し、幹事辞退の話があり、対応策として、私齊藤が代行する事になった。一見フットワークが良さそうに見えることに起因する。会場・日時・規模等については6月の幹事会迄に決定していたが、細かい部分が

未定であった。記念のクラス会となれば心に残るものにしたい。熱田君・鈴木君・杉山君・宮田君・堀君など前幹事の諸兄に公私共に心暖まる応援を頂いた。

いとし会は大戦末期に秋田の山村に学年疎開した大学の歴史の中でも珍しいクラスである。4つの寺に分宿、まさに同じ釜の飯を食った仲間だった。僅か2ヵ月弱であったが十代の少年には悲惨な楽しい？経験だった。戦後復学出来なかった友人達の顔を思い浮かべることでもできる。ためにクラスの結束は固い。酔えば必ず秋田の思い出話で盛り上げる。今回のいとし会に美郷町役場（昔の六郷）やお寺の関係者から寄付、寄贈を頂いた。因みに町も寺も代替りがすすみ当時を知る人も少なくなった。井上 裕君の奥様、善応時の息女昭子様、台蓮寺の小原様には心より御礼申上げたい。体調不良のなか3年間も幹事をつとめて下さった愛知・赤松の両君に感謝と共にゆっくりと健康をとり戻し元気なお顔を見せて頂くことを期待したい。（齋藤 久 記）



写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。

# OB会・グループ・サークルだより

## 演劇部

去る11月28日、演劇部OB-OG会がお茶の水銀座アスターで開催された。

最長老正木光児先輩、小林則夫、大國 勉、落合雅雄、坂登輝夫御夫妻、寺本康郎各先生をはじめ総勢20名が全国各地、遠くは熊本、北海道(札幌、滝川)長野、三重等から集り賑やかに行われた。

当日は宮下達也、川又正義、橋本貞充先生の配慮により、名簿が配られたが、驚くことに、物故された方々を含めて、約120名の若人が演劇部に入会し、それぞれの役割を務めたことになる。正に主役を張る人、わきを固める人、舞台、大道具、小道具、衣裳、効果進行、時にはキップをさばく係等々、それぞれ得意の役を振り向けられ、年に1度の舞台を八重洲口旧国鉄ホール、赤坂公館堂、お茶の水日仏会館、俳優座劇場、有楽町読売会館ホール等、場所を変えても命がけの公演を行って来た。記

録に依ると創設期には新派の柳永二郎師に演技指導をしていただいた、とある。

小生が進学課程1年の時に入会した頃は、スタニスラフスキー芸術論たけなわの時代で、外には、慶応、早稲田、日大などの演研の公演が目白押しで、外国からはモスクワ芸術座による桜の園、三人姉妹、伯父ヴァーニア、またフランスからはコメディ・フランス、歌舞伎は十一代目市川団十郎襲名、新派では花柳章太郎、水谷八重子、イヴモンタン、ナットキングコール来日等、それは華やかな時代であったが、国内では60年70年安保で世の中騒然としていたまか不思議な時代であった。

東園演劇部にもどると、小生在籍中に係った芝居を羅列してみると、「絵姿女房」「アルトハイデルベルヒ(皇太子の初恋)」「英語を話せばこの通り」「制服」「熊」「泥棒達の舞踏会」「華々しき一族」「ピノキオ」

「夜への長い旅路」「愛と死との戯れ」「唾のユミリユス」「父親学校」或る時には上野芸大卒で活動していた日本オペラ研究会からの依頼で、第1生命ホール、日本青年館、長野公会堂などでオペラ「卒都婆小町」「手古奈」等に出演、名を連ねたこともあったし、ついで乍ら、別に慶応医学部OBとの合同で、12月31日紅白歌合戦の前番組「私の秘密」に創作劇で出演した(司会は八木次郎アナウンサー、旧NHKホール)思い出が懐かしい。以後演劇部活動は一時中断が有ったようだが、部創設以来、連綿と続く芝居好きの集り、特に8期卒の坂登輝夫先輩は、今でも千葉で現役の舞台を踏んでいる立派さ、また現役の学生達も新作劇を中心に公演を続けている由。このエネルギーが続く限り、東京歯科大学演劇部萬歳であり、われを省り見ても「あゝわが青春に悔なし」である。

(昭和37年卒 中井一仁 記)



写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

## 第10回轍会（自動車部 OB 会）茨城ミーティング

昭和34年3月に自動車部創立に関わったメンバーが卒業しましたので、自動車部OB会の活動は50年の歴史を持っています。

平成12年の総会においてOB会<sup>わだち</sup>は轍会と命名され、毎年各地で親睦の為の集会（ミーティング）を開催することが決議されました。

第10回目の今年は11月14日に茨城県水戸市で開催され、最年長の白井久雄さん（40年卒）から1年生の現役自動車部員を含め合計14名が参加しました。愛知県蒲郡市から岡本和政さん（43年卒）も馳せ参じてくれました。林 量一さん（48年卒）が自転車に参加したのは一同びっくりしました。

水戸プラザホテルの中華料理をい

ただきながら、参加者はそれぞれの自己紹介の中で、学生時代の部活動の思い出をおもしろおかしく披露しました。

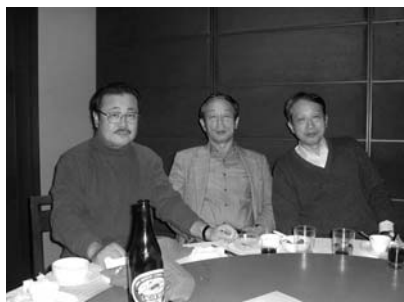
今回は『轍会の歩み』と銘打ってこれまでの活動を映像で紹介しました。

2次会は幹事の部屋に『アルコールとつまみ』を持ち込んで全員集合

し、夜の更けるのも忘れてのおしゃべりに花が咲きました。

翌日、車に分乗し、大洗海岸～那珂湊の魚市場～水戸偕楽園で過ごし、遅めの昼食後に散会しました。来年は多分、静岡周辺で11回目のミーティングが開かれることでしょう。

（昭和42年卒 関谷和夫 記）



左：関谷，中：浦井 OB 会長，  
右：大岡前 OB 会長



左：鈴木 潔先生と3人の現役自動車部員



## バドミントン部歯学体総合優勝祝賀会開催

平成21年9月27日（日）水道橋病院会議室にてバドミントン部 OB 会総会が開催された。席上、8月2日～7日に埼玉県くまがやドームで行われた「第41回全国歯科学学生総合体育大会」バドミントン部門で、我校が男女総合優勝を成し遂げたことが報告された。体育会部活動で最も多い21ポイントを獲得し、東京歯科大学の歯学体総合準優勝に大いに貢献した。また、今年度から部長が副学長の薬師寺 仁先生（昭和42年卒）から有床義歯補綴学講座の杉山哲也先生（昭和58年卒）に引き継がれることも報告された。

総会后、会場を東京ドームホテル42階「オリオン」に移し、OB 会主催の歯学体総合優勝祝賀会兼部長交代式が開催された。歯学体の総合優勝はバドミントン部創部30年間で初めてのことであり、念願の優勝トロフィーでの祝杯で参加 OB も大いに盛り上がり、現役が成し遂げた快

挙を心から祝福した。

バドミントン部は昭和47年に同好会として発足し、昭和53年から部として活動している。現在では OB 会員129人、現役部員19名と東京歯科大学を代表する大規模な組織に成長した。部長交代にあたり、同好会発足以来、暖かく、時に厳しく我々を見守ってくださった薬師寺先生に OB・現役の全員で心から感謝する

とともに、部長交代後も全面的にバドミントン部をサポートして下さることをお願いした。閉会にあたり、今後とも OB 会長である阿部二郎先生（昭和56年卒）を中心に、OB と現役が協力して活動を続け、大学の発展に貢献していくことを誓い合った。

（平成12年卒 阿部 智 記）



# すいどうぼし

## 「政治を磨く」

衆議院議員 川口 浩（昭和54年卒）

私、昭和54年卒・第84期の川口浩でございます。昨年8月の第45回衆議院議員選挙にて民主党より立候補当選し早5カ月が経ち、漸く私自身のアイドリング期間も終了しました。平成22年通常国会も開会され、本格的に衆議院議員としての活動をスタートするに当たり、この場をお借りして私の掲げる政策をご紹介します。

磨きたい政策：民主党が掲げますスローガン『国民の生活が第一』を実現するために、私が掲げました『磨きたい政策』には3つの課題の柱があります。（歯科医師の立場から政策をブラッシュアップするという意味で『磨きたい政策』としています）

まず第1は、「介護保険の現場」の改善です。私は平成10年に介護支援専門員の資格を取得し、介護の現場に携わってきました。そこで直面した現実介護「する側」と「される側」のどちらもが納得できる状況ではなく、机上の計算だけで作られた制度への疑問でした。そこで介護保険を利用する際の制限を実情に合わせ、柔軟な対応がとれる制度へと変更するよう務めていきたいと考えています。

第2は、「救急医療の現場」の改善です。現在の救急医療の現場は崩壊寸前の状況です。医療従事者の都市部への集中で、助かる命も助からない。過疎地では医療を受ける機会にすら恵まれない状況です。これらを早急に解決するために、卒業後の研修制度の見直し、迅速な救急医療実現のためのドクターヘリの全国展

開を促進させていきたいと思っております。

第3は、「遠隔医療の現場」の改善です。病院や診療所のない地域や通院が困難な地域が増えています。遠隔地でも医師が日々の健康状態を管理し、万一の際には適切な処置ができる仕組みが必要です。テレビをつけるのと同じ操作でできる身近で簡単な遠隔医療の整備をめざしたいと考えています。

た治療器具キット等の開発が急務です。今後国からの補助のもとメーカーに協力要請し、より便利なものを開発して頂こうと考えています。

「訪問歯科診療の普及」は、在宅での患者さんを医療連携しながら最後まで責任を持って診療するという社会的貢献により、歯科医師および歯科医療の一層の地位向上ともなり、外来と訪問診療の診療報酬の増大に



以上の3つの課題に取り組み、その政策を磨きあげ、命と生活を守る力となって『国民の生活が第一』を誰もが実感できる社会を目指していきたいと考えています。

さらに歯科医療関係で取り組んでいきたい政策として、「訪問歯科診療の普及」があります。要介護者への「訪問歯科診療の普及」を国として積極的に推進することが重要と捉えています。これが充分展開されれば要介護者の口腔状態の維持・改善は、全身の健康保持・増進にも繋がっていくことは勿論、高齢化に伴い増大が予測される医療費の削減・抑制も可能です。そのためには簡単に持ち運び可能でコンパクト化され

繋がると確信しています。

以上のような政策を一つ一つ確実に実現するには、まだまだ高いハードルがあると存じますが、私の全力を傾注し臨んでいく所存です。そのためには今後一層、東京歯科大学同窓会の皆様方の絶大なるご指導、ご支援を賜りたく、お願い申し上げる次第でございます。ご意見ご要望ございましたら、頂戴できれば幸いです。

川口浩事務所

URL : [www.kawaguchi-hiroshi.com/](http://www.kawaguchi-hiroshi.com/)

E-mail : [hiroshigr@kawaguchi-hiroshi.com](mailto:hiroshigr@kawaguchi-hiroshi.com)

# 庶務日誌

- 1月
- 1) 理事会  
1月16日(土) 第1回理事会
- 2) 委員会  
1月5日(火) 総務会  
5日(火) 学術部委員会 (運営委員会)  
12日(火) 広報部委員会 (会報編集)  
13日(水) 学術部委員会 (プログラム委員会)  
18日(月) 学術部委員会 (運営委員会)  
19日(火) 学術部委員会 (運営委員会)  
20日(水) 学術部委員会 (運営委員会)  
21日(木) 学術部委員会 (研究部委員会)  
25日(月) 総務会  
25日(月) 学術部委員会 (企画委員会)  
28日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
- 3) 出張  
1月8日(金) 千代田支部新年会 大山会長出席  
16日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会  
大山会長出席  
17日(日) 広島県支部総会  
学術講演会 講師・矢島安朝教授(母校)  
22日(金) 芝支部総会・創立70周年記念祝賀会  
大山会長出席  
23日(土) 杉並支部新年会 片倉副会長出席  
26日(火) 浅草・下谷支部合同新年会  
宮地副会長出席  
30日(土) 世田谷支部新年会 宮地副会長出席  
31日(日) 埼玉県支部新年会 大山会長出席
- 2月
- 1) 理事会  
2月17日(水) 第1回常任理事会
- 2) 委員会  
2月8日(月) 学術部委員会 (将来検討委員会B)  
10日(水) 広報部委員会 (会報企画)  
15日(月) 学術部委員会 (臨床研修医セミナー検  
討会)  
15日(月) 厚生部委員会  
16日(火) 学術部委員会 (運営委員会)  
16日(火) 情報部委員会  
17日(水) 学術部委員会 (全体委員会)  
18日(木) 保険部委員会  
22日(月) 学術部委員会 (企画委員会)  
23日(火) 学術部委員会 (研究部委員会)  
24日(水) 学術部委員会 (運営委員会)  
25日(木) 学術部委員会 (運営委員会)  
26日(金) 学術部委員会 (運営委員会)
- 3) 出張  
2月11日(木) 日本大学歯学部同窓会創立90周年記念  
行事  
大山会長, 矢崎・関副会長, 高橋理事出席  
13日(土) 岡山県支部総会  
学術講演会 講師・佐々木 朗先生 (岡  
山大学歯学部病態系教授)  
20日(土) 北多摩支部総会 大山会長出席  
21日(日) 三重県支部総会 関副会長出席  
学術講演会 講師・石田 瞭講師(母校)

## 逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略・届出順)

- |           |                                |            |
|-----------|--------------------------------|------------|
| ●昭 41 卒   | 稲川英史 (69歳)                     | 21. 12. 11 |
| 京橋支部      | 〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野2-17-13    |            |
| ●昭 25 卒   | 大羽覚一 (82歳)                     | 21. 12. 15 |
| 静岡県支部     | 〒437-1203 磐田市福田1536-1          |            |
| ●昭 19.9 卒 | 利根川真澄 (87歳)                    | 21. 12. 17 |
| 埼玉県支部     | 〒350-0164 比企郡川島町大字吹塚40         |            |
| ●昭 50 卒   | 細野由美子 (58歳)                    | 21. 4. 12  |
| 旭川支部      | 〒070-8045 旭川市忠和五条6-17-19       |            |
| ●平 11 卒   | 松井麗 (39歳)                      | 21. 11. 17 |
| 大森支部      | 〒145-0062 大田区北千束3-3-5          |            |
| ●昭 41 卒   | 横田正己 (68歳)                     | 21. 12. 13 |
| 三重県支部     | 〒510-0091 四日市市北浜町1-7           |            |
| ●推薦会員     | 下川定之 (91歳)                     | 21. 11. 12 |
| 牛込支部      | 〒162-0064 新宿区市谷仲之町3-35-101     |            |
| ●昭 19.9 卒 | 的場勝 (88歳)                      | 21. 12. 23 |
| 岡山県支部     | 〒700-0912 岡山市大供表町14-1          |            |
| ●昭 41 卒   | 今仲浩二 (69歳)                     | 21. 12. 25 |
| 埼玉県支部     | 〒336-0024 さいたま市南区根岸4-6-2       |            |
| ●昭 23 卒   | 神保実 (82歳)                      | 21. 10. 7  |
| 旭川支部      | 〒070-0842 旭川市大町2条11            |            |
| ●昭 36 卒   | 滝沢章二 (73歳)                     | 21. 12. 21 |
| 神奈川湘南支部   | 〒251-0031 藤沢市鵠沼藤が谷2-3-10       |            |
| ●昭 18.9 卒 | 熊谷一義 (86歳)                     | 21. 12. 29 |
| 浅草支部      | 〒111-0035 台東区西浅草2-9-8          |            |
| ●昭 22 卒   | 山村博望 (86歳)                     | 22. 1. 4   |
| 蒲田支部      | 〒144-0054 大田区新蒲田3-3-2          |            |
| ●昭 24 卒   | 田中省順 (83歳)                     | 22. 1. 1   |
| 世田谷支部     | 〒370-2811 甘楽郡南牧村六車1500 大雄寺歯科医院 |            |
| ●昭 26 卒   | 鈴木肇 (85歳)                      | 21. 9. 2   |
| 神奈川湘南支部   | 〒251-0052 藤沢市藤沢4               |            |
| ●昭 27 卒   | 内藤粲 (79歳)                      | 21. 12. 30 |
| 目黒支部      | 〒036-8062 弘前市青山5-4-2 久米田方      |            |
| ●昭 20.9 卒 | 袋仁美 (85歳)                      | 22. 1. 13  |
| 群馬県支部     | 〒371-0022 前橋市千代田町3-6-6         |            |
| ●昭 27 卒   | 井内正浩 (79歳)                     | 22. 1. 20  |
| 佐賀県支部     | 〒840-0831 佐賀市松原4-5-13          |            |
| ●昭 35 卒   | 中島武男 (74歳)                     | 22. 1. 26  |
| 愛知県支部     | 〒453-0054 名古屋市市中村区鳥居西通り2-13-6  |            |
| ●昭 20.9 卒 | 門脇俊太 (86歳)                     | 22. 1. 28  |
| 三重県支部     | 〒510-0044 四日市市相生町2-10          |            |



## 鶴木太郎君を偲ぶ

千成会（平成12年卒）



平成21年11月20日早朝、級友から親友の鶴木太郎君の訃報を知らされ、衝撃が走った。認めたくない気持ち

から『ウソだろう』『何かの間違いだらう』、そう自分に言い聞かせていたが、夕方、同窓会からの連絡で事実だとわかった。

彼とは入学式で連番で顔を合わせたときから卒業までの6年間、講義、実習はもとより、部活動でも一緒

で、試験前などにはご実家に上がりこんで一緒に勉強したものだ。

高校時代にアメリカ留学の経験もあり語学に堪能な彼は、物事の考え方も非常にクレバーで頭の回転も速く、ここぞというときの集中力もずば抜けていて、試験の成績では計れない本当に天才肌の男でもあった。

水上スキー部では優れたテクニックで絶対的なエースであったし、何よりも彼の闘争心がチームを牽引する原動力になった。そのおかげで4年生時に全日本学生選手権（インカレ）2部で優勝という成績を残すこ

とも出来た。

卒業後矯正科に籍を置いたのち、東海大学医学部に編入され、10歳近く年の離れた若い医学生に混じってさらに勉強を続けた。「若い奴らには記憶力ではかなわないよ」と苦笑交じりにぼやいていたことが思い出される。

無事に医学部を卒業、国家試験も合格しダブルドクターとなって更なる活躍を、という矢先の訃報に、ただただ残念でならない。

ご冥福を心からお祈りいたします。  
（塚本裕介 記）

## 「共済規程」の一部「共済金」金額の改訂についての確認

平成21年1月1日より施行

保健業法の改正が行われ、以前の東京歯科大学同窓会厚生部共済事業の規模および共済金の額であると、制度を変更せざるを得なくなりました。

平成20年11月22日開催の「平成20年度評議員会」に於いて、「東京歯科大学同窓会共済規程」の一部が改正され、平成21年1月1日より施行されています。

また同窓会報20年12月号に別紙として同封し、会員に報告されております。先日お手元にお届けいたしました会員名簿中にも、該当箇所に記載されております。

改訂内容については既に同窓会報21年2月号「厚生」欄に詳しく経過を述べていますが、規程原文を改めて抜粋して再掲いたします。共済金金額に関して重要事項ですので、もう一度確認して下さい。

付則

（8）平成21年1月1日より施行する。

第6条中一部改正

- ①第1項一号「弔慰共済金20万円を10万円」に改める。
- ②第1項二号「火災罹災共済金20万円を10万円」に改める。
- ③第1項に「四」を追加「四 80歳の長寿お祝い金 5万円」

## ◆投稿規定

### (1) 原稿締切り

原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

### (2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。

### (3) 投稿字数

- ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
- ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3

段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。

### ③ 「追悼」は、500字程度

- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。

なお、掲載については委員会にご一任いただきます。

### (5) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp/only/kouhoubu.html> をご覧下さい。

## ◆へんしゅうこうき

★ 「区切りの2年がやってきました。」……と、編集後記に既に6・7回書いた記憶があります。同窓会役員の任期が2年ですから、委員も2年ごとに区切りとなります。広報部委員会は、継続的に同窓会会報の編集発行を担っていますから、任期終了といえども事業を中断することは出来ません。次期の委員会が成立し引き継げるまでは作業を続けます。

★ 大山執行部は2期目に入りました。最初の出発が、前天野執行部の総辞任という予期せぬ出来事のため、地方理事と監事で半年程代行した後、会務の引き継ぎもそこに常任理事は殆ど新任のみでスタートしています。折しも途中事務長も不在となり、かなりのご苦労があったことと推察いたします。今期も、多数の新任の理事さん方が加わったので、会務が順調に進行することを祈ります。

★ 幸い継続事業の学術セミナー・会報・ゴルフコンペ・ホームページの管理・健保の情報提供などは、各委員会が継続的に運営体制を取っていたので、滞りなく執行出来ました。今年度は母校120周年事業の協力もあり、さらなる多忙が待っていることでしょう。

★ 役員は会長を除きさらなる若返りがありました。組織を硬直させないためにも、人事の若返りは必要なことです。各委員会も徐々に平成=稲毛卒も加わり、新しい会員が参加し新鮮な息吹を吹き込んでいます。少し言葉が古くなりましたが、物怖じしない“新人類”の意気込みを思う存分發揮してくれることを期待します。

★ しかし、地区の歯科医師会や同窓会支部では、若返りを急ぐ余り年長者の阻害感が強まり、会の事業への協力や参加が欠落し始めたことも事実なのです。経験とコネクションを多数持つ年長者は、おだてて使えば喜んで協力することでしょう。かく言う筆者もその一人ですが……。(小林 伯男 記)

### 広報部委員会

委員長 三友 和夫  
委員 小林 伯男  
東郷 幹夫  
小池 修  
古澤 成博  
尾崎 圭子  
福井 雅之  
島田 篤

広報部担当理事 白田 準

平成22年2月20日 印刷

平成22年2月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第374号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 白 田 準

編集人 三 友 和 夫

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)